

官報號外 昭和十七年二

昭和十七年二月十三日

○第七十九回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十二號

昭和十七年一月十二日(木曜日)午前十時十一分開議

トニ關スル法律案

北支那開發株式會社法中改正法律案

中支那振興株式會社法中改正法律案

大東亞戰爭ノ呼稱ヲ定メタルニ伴フ各法

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

國民貯蓄組合法中改正法律案

稅務代理士法案

社債等登録法案

會計法戰時特例案

○議長(伯爵松平頤壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事ノ都合ニ依リ日程ノ順序ヲ變更シ、日程第二ヲ後ニ廻シ、日程第一、南方開發金庫法案、日程第三、帝國石油株式會社法中改正法律案、日程第四、重要物資管理營團法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十七年二月九日

委員長 伯爵兒玉 秀雄
貴族院議長伯爵松平頤壽殿

○議長(伯爵松平頤壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事ノ都合ニ依リ日程ノ順序ヲ變更シ、日程第二ヲ後ニ廻シ、日程第一、南方開發金庫法案、日程第三、帝國石油株式會社法中改正法律案、日程第四、重要物資管理營團法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十七年二月九日

委員長 伯爵兒玉 秀雄
貴族院議長伯爵松平頤壽殿○議長(伯爵松平頤壽君) 御異議ナイト認
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十七年二月九日

委員長 伯爵兒玉 秀雄
貴族院議長伯爵松平頤壽殿○議長(伯爵松平頤壽君) 御異議ナイト認
〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参考ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

右可決スヘキモノト議決セリ依テ及報告候也

○伯爵兒玉秀雄君 只今議題トナリマシタ

帝國礦業開發株式會社法中改正法律案外四

件ノ委員會ハ、七回開會致シマシタ、其ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上げマス、先づ帝國

礦業開發株式會社法中改正法律案ニ付キマシテ申上ゲマスガ、同社ハ三千萬圓ノ資本ヲ以チマシテ設立セラレマシタル半官半民ノ國策會社デアリマシテ、非鐵金屬ノ開發ニ當ツテ來タノデアリマスルガ、時局ノ進展ニ伴ヒマシテ、軍需資源トシテ非鐵金屬ノ重要性ハ更ニ一段ノ増加ヲ來タシタノデアリマス、從ヒマシテ其ノ事業擴充ノ必要ニ應ズル爲ニ、政府出資ノ限度ヲ廢止シ、政府ニ於キマシテモ新株引受ノ道ヲ拓キ、且配當補給金ノ限度ヲ六分ニ引上げ、其ノ年限ヲ十年ニ延長セムトシタモノデアリマス、本案ニ付キマシテハ大體次ノヤウナ質疑應答ガアッタノデアリマス、立法論ト致シマシテハ、先づ資本ノ增加ニ關シマスル改定ヲ行ヒ、然ル後ニ本法ノ如キ便宜的ノ規定ヲ設クル方適當ナイカト云フ質問ニ對シテ、政府ハ、誠ニ御尤モナル御議論デアリマスルガ、增資額ノ決定及其ノ時期ニ關シマシテ、時局ニ對應シテ適當ニ處理スル必要ガアリマスルガ爲ニ、便宜上本法ノヤウナ方法ヲ執ツタ次第デアリマス、尙同會社使用ノ資金ハ、既ニ一億圓ニ達セムトスルノ狀況デアリマスノデ、經營上此ノ際增资ヲスルコトガ必要デアルト云フ説明デアリマス、次ニ南方ニ於キマシテ豐富ナル鑛山が開發セラレマセムトスル今日ニ於キマシテハ、特ニ内地ニ於ケル貧礦ノ開發ヲ獎勵スルノデ、政府ノ出資限度ノ撤廢ヲ致シマ

スルノ必要ガナイデハナイカト云フ間ニ對シマシテ、國內地下資源ノ確保上ヨリ致シマスルモ、又鑛山技術ノ進歩ヲ促ス點ヨリ致シマスルモ、更ニ又銅ノ如キ、鑛物ノ種類ニ依リマシテハ南方ニ大ナル期待ヲ繋ケ得ナイモノガアリマスルノデ、旁内地ニ於ケル貧礦開發モ之ヲ輕視スルコトガ出來ナイト云フ説明デアリマシタ、次ニ南方礦業開發ノ方針ニ關シマシテハ、鑛山統制會統制ノ下ニ、我ガ鑛業家ノ技術上ノ優秀ナル技能ヲ十分ニ活用セシメ、又「ブル」制ヲ適用致シマシテ、全般ノ經營ニ關シ最善ノ努力ヲセムトスル積リデアル、又政府ノ補給金ハ配當補給ノ程度ニ止ムルモノデアルカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ハ、第二十四條ノ規定ヲ活用致シマシテ、積極的ニ援助ヲ爲スノ方針デアルトノ御答辯ニアリマシタ、其ノ他質問ノ検査、本法ト重要物資管理營團トノ關係ニ付キマシテ、質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、次ニ帝國石油株式會社法中改正法律案及帝國燃料興業株式會社法中改正法律案ノ二案ヲ、一括シテ御報告申上げタイト思ヒマス、帝國石油株式會社ハ資本金一億圓デアリマシテ、政府出資ハ其ノ半額ニ限定セラレテ居ルノデアリマス、又帝國石油債券ノ發行限度ハ、拂込株金額ノ三倍ト定メラレテ居ルノデアリマス、御承知ノ通リニ、南方油田ノ開發ノ重大任務ヲ遂行致シマスル爲ニハ、現在程度ノ資金調達ヲ以テシテハ不十分デアリマスルノデ、政府ノ出資限度ノ撤廢ヲ致シマ

シテ、債券發行限度ヲ、三倍ヨリ五倍ニ擴張セムトスルモノデアリマス、尙ソレト同時ニ副總裁ヲ一人ニ増員ヲ致シマシテ、其ノ一人ヲ南方ニ駐在セシムルト云フ改正案デアリマス、次ニ帝國燃料興業株式會社ハ人造石油業ノ振興ヲ助力シテ參ッタノデアリテモ、人造石油ノ重要性ハ毫モ減退スルモノデハナイノデアリマス、ソレ故ニ本會社ニ對シマスル政府出資五千萬圓ノ限度ヲ撤廢致シマシテ、同時ニ配當補給金ヲ擴張シテ資金吸收ヲ便ニシ、本事業ノ振興ヲ促進セムトスルモノデアリマス、兩案ニ關シマシテハ、次ノ如キ質問應答ガ重ネラレタノデアリマス、南方ノ石油ハ自給自足ノ域ニ達シ得ルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、戰前ノ產額一千萬「トン」ハ本邦ノ需要額ニ適應スル數量デアリマスルガ、石油將來ノ需要モ增加スルデアラウシ、又石油ノ種類ニ依リマシテハ其ノ用途ガ一様デナインデアリマスルカラ、將來内地ニ於由ハ、戰時下ニ於キマシテ生產、配給及運輸等ニ不時ノ障碍ヲ生ジ、其ノ供給ノ不圓滑ヲ來タス惧ガアリマスルノデ、工業用ノ各種ノ原料、生活必需品、防空用資材ヲ必要ラ感ズル次第デアリマス、ソレデアリマス、世間デハ往々大量ノ石油ガ直グ様ニデモ供給セラル、ガ如キ考ヲ持タル、方ガマシテ、萬全ヲ期スル次第デアルノデアリマスルガ、是ハ輸送等種々ノ關係上期待シ難イ點ガアルノデアリマス、但シ大東亞戰爭ノ完遂ニハ臺末モ不安ヲ感ズルガ如キコトハ絕對ニナイト云フ確言ヲセラレテ

居上次第デアリマス、次ニ石油ノ處理方法ノ形體ニ關シマシテハ、政府ハ内地ニ於キマスル採油及販賣機關ハ之ヲ統合致シマス一人ヲ南方ニ駐在セシムルト云フ改正案デアリマス、次ニ帝國燃料興業株式會社ハ人造石油ノ採取方ニ付キマシテハ、本會社ヲシテ進出セシムルコトヲ可トスルト云フ意向ヲ漏ラサレテ居リマス、其ノ他液體燃料研究ノ統一、技術員ノ養成、代用燃料ノ普及、燃料研究所ノ充實、對米石油戰ニ關スル對策等ニ關スル事項ニ關シテモ質問ガアッタノデアリマス、更ニ人造石油ノ獎勵方法ニ付キマシテ、補助金政策ヲ廢シマシテ、原價計算ニ基イテ全部ニ瓦リ「ブール」制ヲ以テ之ニ代へ、買上價格ハ約二割方引上げテ、之ヲ獎勵スル方針デアルト政府ハ言明サレテ居ルノデアリマス、次ニ重要物資管

理法ニ付テ御説明申上ゲマス、本法制定ノ理由ハ、戰時下ニ於キマシテ生産、配給及運輸等ニ不時ノ障碍ヲ生ジ、其ノ供給ノ不圓滑ヲ來タス惧ガアリマスルノデ、工業用ノ各種ノ原料、生活必需品、防空用資材ヲ必要ラ感ズル次第デアリマス、ソレデアリマス、世間デハ往々大量ノ石油ガ直グ様ニデモ供給セラル、ガ如キ考ヲ持タル、方ガマシテ、萬全ヲ期スル次第デアルノデアリマスルガ爲ニ、資本二千萬圓、全額政府出資ト致シマシテ本營團ヲ創設シテ、重要物資ノ保有、賣買、輸入等ノ業務ヲ營マシムコトニ致シタノデアリマス、次ニ質疑ノ主ナルモノヲ申上ゲタイト思ヒマス、營團ノ經營方針ニ關スル質問ニ關シマシテ、政府ハ

次ノ如ク説明サレテ居リマス、資本金ノ利子ヲ以テ營團ノ事務費ニ當テマス、融通資金ハ短期借入金ヲ以テ之ヲ支辨シ、其ノ損失ハ政府之ヲ補償シ、是ガ爲ニ政府ハ六千餘萬圓ノ豫算外國庫負擔トナルベキ契約ヲ爲シ得ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、又營團ハ物資統制令ニ基キマシテ、物動計畫上用途未確定ノ物資ヲ保留シ置キマシテ、原則ト致シマシテハ、營團自己ノ所有ノ物資ト致シマシテ、現存ノ倉庫ヲ利用シテ之ヲ保有スルノデアリマスルガ、例外ノ場合ニ於キマシテハ他人ヲシテ保有セシムル場合モアルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテモ、經濟ハ全部營團ノ負擔ト致スト云フコトデアリマス、又營團ガ物資ノ買上ヶフナス場合ニ於キマシテハ、物資統制令ニ基ク命令ニ依リマシテ是ガ強制買上ヲナス場合ト、營團自身ガ政府ノ認可ヲ得マシテ引渡ヲ受クル場合トノ兩様ガアリマス、而シテ買入ノ場合ニ於キマシテハ、公定價格ニ準ジテ之ヲ買入レ、同一價格ヲ以テ之ヲ賣渡シ、其ノ間手數料等ヲ取ルノデナク、是ガ損失ハ補給金ヲ以テ之ヲ填補スルトノ答辯デアリマス、又本法ハ内地ニ施行セラル、ノガ原則デアリマスガ、實行上海外ニ及ブ場合モ豫想セラレルノデアリマス、而シテ内地ニ於テ南方ノ物資ヲ買入ル、場合ニ於キマシテハ、現地ニ於テ臨時軍事費ヲ以テ之ヲ買入レ、營團ハ其ノ物資ヲ買取ル次トナルトノ答辯デアリマシタ、次ニ經濟

部之ヲ出資シ、之ニ必要ナル援助ヲ與フルコトトシ、尙將來ノ推移ニ應ジマシテハ、民間ノ出資ヲモ組入レ得ルノ機縛ニアリマス、本案ハ御承知ノ通り、南方經濟活動ノ根幹ヲ成スモノニアリマスルガ故ニ、種々重要な質疑應答ガアツタノデアリマス、其ノ主ナルモノヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、「タイ」國ヲ本金庫ノ施行區域外ニ置イタル理由ハ如何デアルカ、尙「タイ」國經濟援助ニ關スル件ハ如何デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、本法ハ軍票ノ流通ヲ主眼ト致シテ居リマスル占領地ニ限ッテ適用スル方針ニアリマシテ、將來事態ノ推移ニ從ヒマシテ之ヲ「タイ」國及佛印ニ擴張シ得ベキコトヲ豫想シテ居ル旨ノ答辯アリマシタ、而シテ開戦ニ伴ヒマシテ、「タイ」國ノ財政經濟上ニ急激ノ變動ヲ與ヘタルコトハ事實デアリマス、併シナガラ之ガ救濟ノ方法ハ、別ニ之ヲ考慮スル必要ガアリト答辯サレテ居リマス、南方ノ重要資源ノ中デ、我ガ帝國ノ生產品ト競争ノ立場ニ在ル最モ主ナルモノハ砂糖ニアリマス、非常時ニ於キマシテハ、少クトモ相當量ノ砂糖ヲ内地ニ確保スルノ必要ガアリマス、故ニ採算上有利デアリマセヌトシマスルモ、臺灣及内地ノ糖業ハ之ヲ獎勵スルノ必要ガアリト思フガ、政府ノ意見ハ如何ト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、戰時下ニ於キマシテハ計畫生產ヲ決定スルコトハ困難デアルガ、生存ニ必要な物資ヲ、帝國ヲ中核トシ自給自足ノ策ヲ樹ツルハ當然デアリマス、從ツテ臺灣等

ノ砂糖ヲ獎勵スルノ要アルハ論ヲ俟タザル所デアリマス、從ツテ米作ニ替ヘル如キ考ハ毫末モアリマセヌ、南方ニ於ケル砂糖對策ニ付テハ慎重ニ考究スル積リデアルトノ答辯ガアリマシタ、次ニ共榮圈内ニハ種々ノ形體ヲ有スル地域ガ存在シテ居ル、之ヲ統轄スルガ爲ニ、外務省ハ之ガ組織ヲ變更シ、歐米外交ヲ掌ル歐米省ト東亞省トニ一分シトヲ統合セシメテ一元的ノ行政機關ヲ設置スルノ必要アリト考フ、政府ノ所見如何トノ間ニ對シマシテ、政府ハ、軍政下ニ於キマシテハ、第一ニ戰爭完遂ニ邁進スルノ要ガアリマス、行政機構ハ第二段ニ之ヲ考フルガ至當ト思フノデアリマス、從ツテ中央行政組織ニ付キマシテハ未ダ何等決定シテ居ラナイノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、總動員的體制ニ依ル新ラシキ構想ノ下ニ新機關ノ組織ヲ希望シツ、アルノデアリマスルガ、只今ノ所ニ於キマシテハ、施行機關ヨリハ寧ロ諮詢的機關ヲ先づ設置シタキ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又南方經濟開發ニ關シマスル爲ニ新ラシク特殊會社ヲ創設スルコトニ關シテハ、今日ニ於テ居リマス、而シテ將來經濟上ノ進展ニ伴ヒマシテ、種々施策ヲ必要トスルノデハアリマスルガ、政府ハ如何ナル場合ニ於キマス、而シテ將來經濟上ノ進展ニ伴ヒマシテモ、圓ヲ基準トスル所ノ方針ハ之ヲ堅持スル積リデアルトノ答辯アリマシタ、次ニ華僑對策ニ關シテ、從來華僑ハ英米經済ニ依存シテ其ノ勢力ヲ擴大シテ來タノデアリマスルガ、今ヤ此ノ財的關係ハ絶タレタノデアリマス、此ノ情勢ノ下ニ於キマシ

アリマセヌ、ソレ故ニ英米ノ財力ヲ排除シ、之ニ代ルベキ有力ナル金融機關ノ必要ヲ認メタノデアリマス、是レ今回本金庫ノ設置ヲ見ルニ至リマシタル理由ノ一ツデアルト云フコトデアリマス、次ニ南方ニ對スル爲替相場ハ速カニ之ヲ定ムル必要ガアルトノ間ニ對シマシテ、軍政下ニ於キマシテハ、普通經濟行爲ノ行ハレ難イノハ當然デアリマスルガ、今後經濟活動ヲ盛ンナラシムガ爲ニハ、經濟的爲替相場ト海上輸送ノ充實トガ何ヨリモ大切デアリマス、從ヒマシテ政府ハ、今後ノ推移ニ照シ、機ヲ逸スルコトナク、成ルベク速カニ爲替相場ヲ定メタガアリマス、行政機構ハ第二段ニ之ヲ考フルガ至當ト思フノデアリマス、從ツテ中央行政組織ニ付キマシテハ未ダ何等決定シテ居ラナイノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ、總動員的體制ニ依ル新ラシキ構想ノ下ニ新機關ノ組織ヲ希望シツ、アルノデアリマスルガ、只今ノ所ニ於キマシテハ、施行機關ヨリハ寧ロ諮詢的機關ヲ先づ設置シタキ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、又南方經濟開發ニ關シマスル爲ニ新ラシク特殊會社ヲ創設スルコトニ關シテハ、今日ニ於テ居リマス、而シテ將來經濟上ノ進展ニ伴ヒマシテ、種々施策ヲ必要トスルノデハアリマスルガ、政府ハ如何ナル場合ニ於キマス、而シテ將來經濟上ノ進展ニ伴ヒマシテモ、圓ヲ基準トスル所ノ方針ハ之ヲ堅持スル積リデアルトノ答辯アリマシタ、次ニ華僑對策ニ關シテ、從來華僑ハ英米經濟ニ依存シテ其ノ勢力ヲ擴大シテ來タノデアリマス、其ノ他本案ニ付キマシテ、文化政策、鹽ノ問題、金庫幹部ノ人選其ノ他金

テハ、華僑自身ノ力ニ基キ我が方ニ協力スルヤウ工作スル必要ヲ感シテ居ルトノコトデアリマス、南方開發ニ當ルベキ人ノ選擇及指導ニ付キマシテハ、國防經濟ニ深キ理解ヲ有シ、南方ニ經驗アル人ヲ優先的ニ活動セシメルノ方針デアリマスルガ、同時ニシテ之ガ經營ニ當ラシムルノ方針デアリマス、又滿洲ニ對シマシテ拓殖移民ヲ必要殊ニ產業界ト協議ヲ盡シマシテ適當ナル者トスルガ如ク、南方ニ對シマシテハ訓練シタルナシテ之ガ經營ニ當ラシムルノ方針デアリマス、又滿洲ニ對シマシテ拓殖移民ヲ必要トスルガ如ク、南方ニ對シマシテハ訓練シタルナシテ之ガ經營ニ當ラズ、廣く適材ヲ養成シテ之ヲ南北方ニ配置セムトスルノ計畫デアルト答辯サレテ居リマス、次ニ南方經營ニ關シマシテハ、日滿支ヲ中核トシテ計畫ヲ立テル事柄ハ誠ニ至當デアル、徒ニ產業上ノ適地商業工業ニ限ラズ、廣く適材ヲ養成シテ之ヲ南北方ニ配置セムトスルノ計畫デアルト答辯サレテ居リマス、次ニ南方經營ニ關シマシテハ、日滿支ヲ中核トシテ計畫ヲ立テル事柄ハ誠ニ至當デアル、徒ニ產業上ノ適地商業工業ニ限ラズ、廣く適材ヲ養成シテ之ヲ南北方ニ配置セムトスルノ計畫デアルト答辯サレテ居リマス、又時局ニ對シマスル國民ノ主義ニ偏スルハ不可デハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ全然同感ノ意ヲ表セラレテ居リマス、又時局ニ對シマスル國民ノ自覺ハ十分ニ之ヲ認ムルガ、國際情勢ヲ周知スベキ報道ニ缺クル點ガアリトノ質問ニ對シ、尙斯クノ如キ今日ノ情勢デハ眞ニ國民ノ總力ヲ糾合スルコトハ難キコトデハナカトノ質問ニ對シマシテ、現下外國ニ於テ情報ヲ得ルコトハ頗ル難事ノ次第デアリマスルガ、報道ノ不十分ナル點ニ付キマシテハ十分注意ヲ加フベシトノ政府ノ言明デアリマス、其ノ他本案ニ付キマシテ、文化政策、鹽ノ問題、金庫幹部ノ人選其ノ他金

庫ノ運營ニ關スル等、重要ナル質問應答ガアリマシタガ、是ハ茲ニ之ヲ省クコトニ致シマス、斯クテ五案ノ質疑ヲ終了致シマシタ、仍テ先づ帝國鑄業開發株式會社法中改正法律案、帝國燃料興業株式會社法中改正法律案及重要物資管理營團法案ノ四案ニ付討論ニ入リマシテ、採決ノ結果、全會一致可決ト決定セラレタノアリマス、次ニ南方開發金庫ノ討論ニ移リマシタ、一委員ヨリ、今回ノ大東亞戰爭ニ付キマシテハ、我ガ國未會有ノ大業デアリマシテ、之ガ戰果ヲ全ウシ、大東亞共榮圈ヲ確立スルコトハ一日モ忽ニスルコトガ出來ナイト思フノアリマス、之ガ爲、軍官民ノ緊密ナル一致協力ヲ必要トスルコトハ申ス迄モナイコトアリマス、ソレ故ニ戰爭ノ進展ニ伴ヒマシテ、速カニ對シテ希望ヲ申述ベタイト思フノアリマス、中央ニ強力ナル機關ヲ設クルヤウ政府ニ付キマシテハ、新タル組織ニ依ラズ、差テ、採決ノ結果、全會一致原案ハ可決セラタノアリマス、次イテ希望決議ノ採決ヲ致シマシタル處、是レ亦全會一致可決セラレタノアリマス、仍テ希望決議ヲ朗讀致シマス

希望決議
大東亞戰爭ニ赫々タル戰果ノ進展ニ伴ヒ共榮圈ノ基礎ヲ確立センガ爲政府ハ速ニ政治經濟文化ノ綜合的施策ニ對シ強力ナル中樞機關ヲ設置セラレントヲ望ム報告ヲ終ルニ當リマシテ、本委員會ヲ通ジマシテ言明セラレマシタル政府ノ南方經濟處理ニ關スル方針ノ大要ヲ申添ヘルコトハ、必ズシモ無益デナイト信ズルノデアリマス、暫ク御清聽ヲ汚シタルコトヲ主眼ト即チ政府ノ根本方針ハ、重要資源ヲ充足シリテ、遺憾ナカラシムルコトヲ主眼トシ、更ニ大東亞自給自足ノ體制ヲ確立セムトスルニツニアルノアリマス、而シテ占領地域ニ對シマスル當面ノ施策ト致シマシテハ、資源ノ獲得、敵性國家ニ對スル物資流出ノ阻止、現地自活ノ確保、在來企業ノ我ガ方ヘノ協力誘導、此ノ四點ニ存スルノアリマス、而シテ資源開發ノ方法ノ大綱ハ中央ニ於テ之ヲ決定シ、其ノ物資ハ總テ物資動員計畫ニ組入レ、一元的ニ處理スルノアリマス、石油、鑄物、農林產物等ノ開發ノ目的達成ノ爲ニ對南經濟方針ノ大綱ガ定メラレ、此ノ大綱ニ基キマシテ勝チ貫クト云フコトハ最大唯一ノ眼目アリマス、此ノ目的達成ノ爲ニ對南經濟方針ノ大綱ガ定メラレ、此ノ大綱ニ基キマシテ諸般ノ施設ガ計畫サレツ、アルト云フ事柄ヲ認識スル次第アリマス、此ノ意味ニ於キマシテ委員會ハ慎重ニ審議ヲ進メタノデアリマス、我々ハ當ニ此ノ根本方針ニ準據致シマシテ大東亞共榮圈ノ建設ニ全力ヲ傾注スベキコトヲ痛感スル次第アリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、五案ノ採決ヲ致シマス、五案ノ第一讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第三讀會ヲ開キマス、五案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一、國民更生金庫法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長溝口伯爵

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第三讀會ヲ開キマス、五案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一、國民更生金庫法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長溝口伯爵

國民更生金庫法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年二月六日

委員長 伯爵溝口 直亮
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵溝口直亮君 只今議題ニ上リマシタ
案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申
上ゲマス、本委員會ハ二月二日ヨリ二月六
日ニ瓦リマシテ二回開會致シマシテ、政府
原案ヲ可決致シマシタ、只今委員會ニ於ケ
ル政府ノ説明並ニ質疑應答ノ大要ヲ申述べ
マス、委員會ノ劈頭ニ於キマシテ政府委員
ヨリ提出ノ理由ノ御説明ガゴザイマシタ
ガ、是ハ殆ド本議場ニ於ケル大藏大臣ノ御
説明ト大差ガザイマセカラ是ハ略シマス、
要スルニ本案ノ骨子ハ二點ゴザイマス、一
點ハ、資金ヲ充實スル爲ニ資本金ヲ三千萬
圓増スノト、更生債券ヲ資本金ノ十倍ヨリ
十五倍ニ増スト云フコトガ一ツ、尙一點ハ、
只今迄大藏省ノ所管ニナシタノ
ヲ商工省ノ所管ニ移シマシタニ付キマシテ、
大藏大臣ニ商工大臣ガ協議ヲスルト云フ規
定ヲ設ケマシタコト、此ノ二點ゴザイマ
ス、次ニ質疑應答ニ關スル一部ヲ申上ゲマ
ス、尙詳シイコトハ既ニ出テ居リマス速記
錄ニ付テ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、第
一ノ質問ハ、只今迄ノ更生金庫ノ業績ハド
ウデアツカト云フコトニアリマシテ、此ノ

質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ、只今迄扱ヒマ
シタ件數ガ二千九百件、引受金額ハ九百二
十萬圓、貸付金額ガ八百二十四萬圓、此ノ
スノハ、米穀販賣業者ノ轉廢業ニ關スル問
題デゴザイマスガ、貸付金額ノ多イノハ、
寧ロ旅客自動車運輸業、是ガ最大ニナッテ居
リマス、尙之ニ應ジテ取扱フ主ナルコトハ、
地方長官ノ指導斡旋ニ依ル計畫的集團的ノ
轉廢業者ヲ對象トシテ、個々ノ轉廢業者ニ
對シテハ、他ノ方法ニ依ツテヤツテ此ノ更生
金庫デハ對象トシナイト云フコトデアリマ
シタ、次ノ御質問ハ、中小商工業者ノ轉廢
業ノ主ナル目的ハニ方アルカト云フコトデ
アリマスガ、此ノ質問ニ對シテ政府ヨリ、
是ハ主ナル目的ハニツデアリ、一ツハ勞働
力ノ供出、尙一つハ中小商工業者ソレ自身
ノ機構ノ合理化ニ依ル能率ノ増進、竝ニ總
テノ閣トカ、サウ云フ事ノ廢棄ヲ目的トス
ルモノデアルト云フコトデアリマシタ、次
ノ御質問ハ、更生金庫ノ資金融通ノ手續ガ
煩雜デ、而モ非常ニ遲レテ、ソレガ爲ニ目
的ヲ達シナイヤウナコトガアルヤウニ聞イ
テ居ルガ、ソレニ付テ政府ノ所見ハドウデ
アルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ
此ノ手續ニ於テ一番時間ヲ取ルノハ資產ノ
評價デアル、之ニ付テハ十分時間ヲ短縮シ
且手續ヲ簡易ニシテヤル積リデアルガ、而
モ是ハ相當時間ヲ取ルモノデアルカラシテ、
目下ノ所デハ一時のノ金融ヲ圖ツテソレデ
一時ヲ凌グト云フコトノ出來ルヤウニ、而モ急速ニ
ウデアツカト云フコトニアリマシテ、此ノ

質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ、只今迄扱ヒマ
シタ件數ガ二千九百件、引受金額ハ九百二
十萬圓、貸付金額ガ八百二十四萬圓、此ノ
スノハ、米穀販賣業者ノ轉廢業ニ關スル問
題デゴザイマスガ、貸付金額ノ多イノハ、
寧ロ旅客自動車運輸業、是ガ最大ニナッテ居
リマス、尙之ニ應ジテ取扱フ主ナルコトハ、
地方長官ノ指導斡旋ニ依ル計畫的集團的ノ
轉廢業者ヲ對象トシテ、個々ノ轉廢業者ニ
對シテハ、他ノ方法ニ依ツテヤツテ此ノ更生
金庫デハ對象トシナイト云フコトデアリマ
シタ、次ノ御質問ハ、中小商工業者ノ轉廢
業ノ主ナル目的ハニ方アルカト云フコトデ
アリマスガ、此ノ質問ニ對シテ政府ヨリ、
是ハ主ナル目的ハニツデアリ、一ツハ勞働
力ノ供出、尙一つハ中小商工業者ソレ自身
ノ機構ノ合理化ニ依ル能率ノ増進、竝ニ總
テノ閣トカ、サウ云フ事ノ廢棄ヲ目的トス
ルモノデアルト云フコトデアリマシタ、次
ノ御質問ハ、更生金庫ノ資金融通ノ手續ガ
煩雜デ、而モ非常ニ遲レテ、ソレガ爲ニ目
的ヲ達シナイヤウナコトガアルヤウニ聞イ
テ居ルガ、ソレニ付テ政府ノ所見ハドウデ
アルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ
此ノ手續ニ於テ一番時間ヲ取ルノハ資產ノ
評價デアル、之ニ付テハ十分時間ヲ短縮シ
且手續ヲ簡易ニシテヤル積リデアルガ、而
モ是ハ相當時間ヲ取ルモノデアルカラシテ、
目下ノ所デハ一時のノ金融ヲ圖ツテソレデ
一時ヲ凌グト云フコトノ出來ルヤウニ、而モ急速ニ
ウデアツカト云フコトニアリマシテ、此ノ

質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ、只今迄扱ヒマ
シタ件數ガ二千九百件、引受金額ハ九百二
十萬圓、貸付金額ガ八百二十四萬圓、此ノ
スノハ、米穀販賣業者ノ轉廢業ニ關スル問
題デゴザイマスガ、貸付金額ノ多イノハ、
寧ロ旅客自動車運輸業、是ガ最大ニナッテ居
リマス、尙之ニ應ジテ取扱フ主ナルコトハ、
地方長官ノ指導斡旋ニ依ル計畫的集團的ノ
轉廢業者ヲ對象トシテ、個々ノ轉廢業者ニ
對シテハ、他ノ方法ニ依ツテヤツテ此ノ更生
金庫デハ對象トシナイト云フコトデアリマ
シタ、次ノ御質問ハ、中小商工業者ノ轉廢
業ノ主ナル目的ハニ方アルカト云フコトデ
アリマスガ、此ノ質問ニ對シテ政府ヨリ、
是ハ主ナル目的ハニツデアリ、一ツハ勞働
力ノ供出、尙一つハ中小商工業者ソレ自身
ノ機構ノ合理化ニ依ル能率ノ増進、竝ニ總
テノ閣トカ、サウ云フ事ノ廢棄ヲ目的トス
ルモノデアルト云フコトデアリマシタ、次
ノ御質問ハ、更生金庫ノ資金融通ノ手續ガ
煩雜デ、而モ非常ニ遲レテ、ソレガ爲ニ目
的ヲ達シナイヤウナコトガアルヤウニ聞イ
テ居ルガ、ソレニ付テ政府ノ所見ハドウデ
アルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ
此ノ手續ニ於テ一番時間ヲ取ルノハ資產ノ
評價デアル、之ニ付テハ十分時間ヲ短縮シ
且手續ヲ簡易ニシテヤル積リデアルガ、而
モ是ハ相當時間ヲ取ルモノデアルカラシテ、
目下ノ所デハ一時のノ金融ヲ圖ツテソレデ
一時ヲ凌グト云フコトノ出來ルヤウニ、而モ急速ニ
ウデアツカト云フコトニアリマシテ、此ノ

質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ、只今迄扱ヒマ
シタ件數ガ二千九百件、引受金額ハ九百二
十萬圓、貸付金額ガ八百二十四萬圓、此ノ
スノハ、米穀販賣業者ノ轉廢業ニ關スル問
題デゴザイマスガ、貸付金額ノ多イノハ、
寧ロ旅客自動車運輸業、是ガ最大ニナッテ居
リマス、尙之ニ應ジテ取扱フ主ナルコトハ、
地方長官ノ指導斡旋ニ依ル計畫的集團的ノ
轉廢業者ヲ對象トシテ、個々ノ轉廢業者ニ
對シテハ、他ノ方法ニ依ツテヤツテ此ノ更生
金庫デハ對象トシナイト云フコトデアリマ
シタ、次ノ御質問ハ、中小商工業者ノ轉廢
業ノ主ナル目的ハニ方アルカト云フコトデ
アリマスガ、此ノ質問ニ對シテ政府ヨリ、
是ハ主ナル目的ハニツデアリ、一ツハ勞働
力ノ供出、尙一つハ中小商工業者ソレ自身
ノ機構ノ合理化ニ依ル能率ノ増進、竝ニ總
テノ閣トカ、サウ云フ事ノ廢棄ヲ目的トス
ルモノデアルト云フコトデアリマシタ、次
ノ御質問ハ、更生金庫ノ資金融通ノ手續ガ
煩雜デ、而モ非常ニ遲レテ、ソレガ爲ニ目
的ヲ達シナイヤウナコトガアルヤウニ聞イ
テ居ルガ、ソレニ付テ政府ノ所見ハドウデ
アルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ
此ノ手續ニ於テ一番時間ヲ取ルノハ資產ノ
評價デアル、之ニ付テハ十分時間ヲ短縮シ
且手續ヲ簡易ニシテヤル積リデアルガ、而
モ是ハ相當時間ヲ取ルモノデアルカラシテ、
目下ノ所デハ一時のノ金融ヲ圖ツテソレデ
一時ヲ凌グト云フコトノ出來ルヤウニ、而モ急速ニ
ウデアツカト云フコトニアリマシテ、此ノ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第一讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、本案全部、委員長報告通り
デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、本案全部、第一讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、本案全部、第一讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第七、米穀
需給調節特別會計法中改正法律案、日程第
八、木炭需給調節特別會計法中改正法律案外二
時補足ニ關スル法律案、日程第九、食糧管
理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第七、米穀
需給調節特別會計法中改正法律案、日程第
八、木炭需給調節特別會計法中改正法律案外二
時補足ニ關スル法律案、日程第九、食糧管
理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ

○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第一讀會
ヲ開キマス、御異議ナイト認
メマス

○伯爵酒井忠正君 只今議題トナリマシタ
件ニ付キマシテ、特別委員會ノ審議ノ經過

件ニ付キマシテ、特別委員會ノ審議ノ經過
時補足ニ關スル法律案、日程第九、食糧管
理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ

議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、委員長酒井伯爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日
委員長 伯爵酒井 忠正

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
時補足ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日
委員長 伯爵酒井 忠正

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
時補足ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日
委員長 伯爵酒井 忠正

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
時補足ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日
委員長 伯爵酒井 忠正

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
時補足ニ關スル法律案

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
時補足ニ關スル法律案

致シタノデアリマシテ、政府ノ説明ヲ聽取

シ、質問應答ヲ重ネマシテ、慎重審議ヲ

申上ゲマスレバ、食糧管理法案ノ要旨

ハ、第一ニ、主要食糧ノ國家管理ヲ強化ス

ルコトデアリマス、第二ニハ、主要食糧ノ

配給機構ヲ整備致シテ中央地方ニ食糧營團

ヲ創設致シマシテ、綜合配給ニ關スル事業ヲ

擔當セシムルコトデアリマス、第三ハ、此

ノ食糧營團ニ非常時用食糧ノ貯藏ヲ實施セ

シムルコトデアリマス、此ノ三點ガ本案ノ

主ナル骨子トナツテ居ルノデアリマス、中

央食糧營團ノ資本金ハ一億圓デアリマシテ、

政府ハ五千萬圓ヲ限シテ出資ヲ致スノデア

リマス、而シテ拂込資本金額ノ五倍ヲ限シテ

食糧營團債券ヲ發行シ得ルノデアリマス、

地方營團ハ、地方ノ實情ニ應ジマシテ資本

金ガ決定サレルコトニナツテ居リマス、尙食

糧營團ニ於テ取扱ヒマスル主要食糧ハ、米

麥、甘藷、馬鈴薯又ハ是等ノ加工品等デア

ルノデアリマス、次ニ米穀需給調節特別會

計法中改正法律案ニ付キマシテ申上ゲマス

ガ、本案ハ米穀等ニ關シマスル諸法律ヲ整

備致シテ、食糧管理法ヲ制定致スニ伴ヒマ

シテ、從來ノ米穀需給調節特別會計法ノ名

ヲ期シマスル爲ニ、當時相當多量ノ木炭ヲ貯
藏致ス必要ガアリマスル關係上、本會計ノ

合ニ於キマンテハ、九百萬圓ヲ限シテ臨時補
足シ得ルコトニ致シテ、本會計ノ圓滑ナル

運營ヲ圖ラムトスルノガ本案ノ骨子デアリ

マス、右三案ニ付キマシテ委員諸君ヨリ質
疑ガアッタノデアリマスルガ、其ノ質疑應答

ノ大要ヲ申述ベタイト存ジマス、第一ハ東

亞共榮園ニ於ケル食糧ノ生產交流ノ問題デ

アリマス、戰果ノ擴張ニ伴ヒマシテ、豐富ナ

ル南方ノ食糧資源ガ我ガ把握下ニ入りマシ

タ結果、南方諸地域トノ關聯ニ於テ我國ノ農

食糧政策ヲ如何ニ調整スルカ、又我國ノ農

業政策ノ根本方針ヲ如何ニ樹テルカ、殊ニ

付キマシテ論議ガ致サレタノデアリマス、是

等ハ何レモ現下重大ノ問題デアリマスルガ、

之ニ對シマシテ、政府ハ大體次ノヤウナ答

辯ヲ致サレタノデアリマス、即チ我國ノ農

村ハ單ニ食糧ヲ作ルト云フ使命ヲ持シテ

居ルバカリデナク、大和民族ノ源泉タル人

的資源ノ涵養地デアルト云フ重大ナル責務

ヲ持シテ居ル、從シテ立派ナル日本農民ヲ育

成致スト共ニ、農村人口ノ確保ハ飽ク迄モ

之ヲ堅持致サケレバナラナイ、ソレガ爲ニ

ニハ農村ノ生產ニ對シテ經濟上引合フヤウ
ニ致シテ、農村經濟ヲ守リ立ツル所ノ諸方

策ヲ樹テ、又一面ニ於キマシテハ重工業等
ヘノ勞力ノ流出ヲ防ギ、自由ノ轉業ノ制限
ヲ致シテ、基本の人口ハ必ラズ之ヲ保有セ

ムトスルコトニ努メル、又更ニ精神的修鍊ノ機關ヲ活用致シ、或ハ文化施設、保健ノ方面ニモ留意スル等、物心兩方面ヨリ必要ナル施策ヲ講ズル考デアル、又主要食糧ニ關シマシテ、此ノ主要食糧ハ海ヲ隔テダ遠隔ノ地ニ依存スルト云フガ如キコトハ避クベキコトデアツテ、何處迄モ内外地ヲ通ズル日本帝國内ニ於テ自給自足スルト云フコトヲ基礎ト致シテ、東亞共榮圈内ノ食糧政策ヲ樹立セネバナラナイト言明致サレタノデアリマス、尙他ノ農作物ニ付キマシテハ、適地適作主義ヲ以テ進ム方針デアル、滿洲開拓民ニ付キマシテハ、内地農村ニ適正規模農家ヲ設定シテ、健全ナル農民人口ノ一定數ヲ保有致ス上カラ致シマシテモ、滿洲ヘノ分村ト云フコトハ缺クベカラザル條件デアリマスノデ、既定ノ國策トシテ飽ク迄モ是ガ遂行ヲ期スル考ヘデアル、而シテ南方ニ對シマシテ、技術知識ニ重キヲ置キマシテ、指導者ヲ送ツテ指導ニ當ラシメル所ノ方針デアル、大量ノ移民ヲ南ニ送ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナイト云フ答辯デアツタノデアリマス、又最近ノ食糧事情等ニ關シマシテ、祕密會ニ於キマシテ詳細ニ數字的ニ互ツテ説明ガアツタノデアリマスルガ、是ハ茲ニ御報告申上ゲル自由ヲ持タナイコトヲ遺憾ニ存ズルノデアリマス、現下ノ輸送關係、又資材關係ニ於テ逼迫致シテ居ルニモ拘リマセズ、或ハ緊急食糧對策、或ハ食糧豫備貯藏等ノ實施ニ依リマシテ、食糧ノ確保ニ付テハ何等不安ガナイト云フ

力強イ言明ガアツタコトヲ申上ゲテ置キマス、次ニ食糧管理法ニ依ル政府ノ米麥買入又ハ賣渡價格ノ決定方法ニ關スル問題デアリマス、特ニ買入ノ決定方法ニ付キマシテハ、少クトモ生産費ヲ償ヒ、且生産農民ノ勞苦ニ酬ユルダケノ價格ニシナケレバナラヌノデアツテ、從來米穀統制法ニ於テ最低價格ヲ決定シタ場合ノ如ク、中庸生産費ヲ基礎トシテ定メルト云フ譯ニハ行カナイ、若シ中庸生産費ヲ押サヘルト云フコトニナレバ米作ノ維持ハ到底困難デアルシ、サレバト言ツテ之ヲ最高生産費デ押サヘルト云フコトニナレバ高クナル、此ノ決定ハドウ云フ風ニスル積デアルカト云フ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ政府ハ、從來ノ生産費及家計費ノ調査ニ所要ノ改善ヲ致シマシテ、之ニ物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテハ、生産費ニ投下資本ノ利子ヲ加ヘ、更ニ經營上ノ利潤ヲモ考慮致シテ、米麥ノ生産維持ノ見地カラ適正價格ヲ決定スル考デアル、但シ買入賣渡價格ニ付キマシテハ、適當ノ基準方法ガ決定致サレル迄ハ差當リ從來ノ例ニ依ツテ價格ヲ決定スル方針デアルト云フ答辯デアツタノデアリマス、次ニ食糧營團ニ付テノ質問デアリマス、今回設立セラレムト致シマスル所ノ食糧營團ハ、營利制ヲ脱却シタ所ノ公共的配給機關デアル意ニ副フヤウニナサナケレバナラナイ、其カラシテ、從來國策會社等ニ往々見ルガ如

ノ爲ニハ政府ノ監督ヲ十分ニ徹底セシメテ、營團ノ役職員ノ責任ヲ明カニシ、或ハ配給費用ノ嵩ミ、或ハ一般消費者ニ不利不便ヲ與ヘルト云フコトノナイヤウニシテ貴ヒタイ、之ニ對スル政府ノ所見ハ如何ト云フ質問ガアッタノデアリマス、政府ハ、營團ノ内部ニ教養訓練ノ方途モ講ジ、役職員ニ民間ノ經驗者ヲモ加フルト共ニ、監督ヲ嚴正ニシテ其ノ運營ヲ適切ナラシムルヤウニ努メルト云フコトデアリマシタ、次ニ木炭ノ増産、配給ニ關スル問題デアリマス、内地ニ於ケル森林資源ハ、木材、木炭等ノ増産ノ爲相當濫伐ノ傾向ガアルノデ、今後ハ臺灣等ニ於テ木炭ヲ增産致シテ、之ヲ内地ニ移入スルヤウニ致シテハドウデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ臺灣ニ於ケル木炭ノ増産ニ關シテハ、夙ニ計畫ヲ樹立致シテ居ル、本年度ニ於キマシテモ約二萬「トン」ノ木炭ヲ内地ニ移入スル豫定デアッタガ、船腹不足ノ爲ニ豫定通りノ入荷ヲ見ルコトハ困難デアルト云フ答辯デアリマシタ、又現在木炭ノ產地ニハ相當木炭ノ帶貨ガアルガ、之ニ對スル方策ハドウデアルカト云フ質疑ニ對シマシテ、政府ヨリ、木炭ノ山元カラ驛又ハ港迄ノ運搬ニ付キマシテハ、學生、青年團等ノ搬出、勤労奉仕施設ノ活用、或ハ「ガソリン」ノ特別配給等ヲ行ツテ極力搬出ニ努メテ居ルノデアル、又產地カラ消費地ニ對スル輸送ニ付キマシテハ、鐵道、遞信兩省ニ於テ優先的輸送ヲ圖ッテ居ルト云フコトデアリマシ

タ、次ニ農業團體統制ノ問題デアリマス、農業團體ノ統制ニ關シマシテハ、屢々農林大臣ノ言明モアリマシタコトデ、其ノ法案ハ本議會ニ必ズ提案セラレルモノト豫想セラレテ居ツタニモ拘ラズ、其ノ提案ヲ見ナカッタ理由ハドウデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、今議會ニ於ケル提出議案ハ緒戦目的遂行ニ當ツテ迅速解決ヲ要スルモノミニ限定スルコトニナツタ爲ニ、其ノ提出ハ之ヲ見合セタノデアル、併シ出來ルダケ近イ機會ニ之ガ實現ヲ圖ル者デアルト云フ、言明ガアツタノデアリマス、又此ノ案ノ不出ハ内務省ニ反対ガアツタ爲デアルト云フ、ヤウナ風ニ一部傳ヘラレテ居ルガ、サウ云フ事實ハアルノカト云フ問ニ對シマシテ、内務次官ヨリ、兩省ノ間デ意見ノ交換ヲ進メテ居ルノデアツテ、不提出ニ相成ツタコトハ、其ノ間ニ意見ノ扦格ニ依ツタ譯デハナイノデアルト云フ辯明ガアツタノデアリマス、此ノ外或ハ非常時用食糧ノ貯藏ノ問題ニ付テ、或ハ魚類、甘藷等ノ配給ニ關シマシテ、其ノ統制ヲ合理的なラシムル方針ニ付テ熱心ナル質疑モアリマシタ、更ニ農業保険制度ノ改正ニ關スル問題、或ハ水産ノ統制、食糧増産對策トシテノ技術指導、種苗ノ確保、自給肥料ノ増産、内外地食糧行政ノ一元化等ニ關シマシテノ重要ナル質疑應答ガアツタノデアリマス、詳シクハ速記録ニ譲リタイト思ヒマス、委員會八十日ニ質疑ヲ終了致シマシテ、直チニ討論ニ入ツタノデアリマス、討論ニ際シマシテ各委員ヨリ御陳述

ガアッタノデアリマス、我ガ國食糧ノ確保

ハ、長期戰態勢ノ整備ニ對シテハ最大緊要

事デアッテ、殊ニ米麥等ノ需給ヲ適正ナラシ

メルコトハ喫緊ノ急務デアルカラシテ、政

府ハ本案提出ノ趣旨ニ從ツテ、國民ヲシテ毫

モ食糧不安ノ感ヲ抱カシメザルヤウ最善ノ

努力ヲ盡サレタイ、又國內農村ニアッテハ、

質ニ量ニ優秀ナル人口ヲ確保シテ、農村態

勢ヲ整ヘマスルト共ニ、政府ハ東亞共榮圈

指導ノ立場ニ立ツテ、其ノ人口食糧問題ノ解

決ニ努力ヲ致サレタイ、又此ノ法案成立ノ上

ハ、立法ノ趣旨ヲ能ク徹底セシメテ、農民

ヲシテ徒ニ萎縮セシメザルヤウ考慮サレタ

イ、ト云フヤウナ希望的意見ガ述べラレ、

何レモ原案賛成ノ趣旨ヲ陳述致サレタノデ

アリマス、農林大臣モ、委員諸君ノ御希望

ノ趣旨ニ副フヤウ十分考慮スル旨ノ言明ガ

アツクノデアリマス、斯くて採決ニ入リマシ

テ三案ノ採決ヲ致シ、全會一致可決スベキ

モノト決定致シタ次第アリマス、以上御

報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 三案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問

題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告通

リデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 三案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○子爵植村家治君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 植村子爵ノ動議

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

○公爵島津忠承君 演壇ニ登ル

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

法律案、日程第十三、國民健康保險法中改正

法律案、日程第十四、戰時災害保護法案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委

員長報告、是等ノ五案ヲ一括シテ議題ト爲

スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 異議ナイト認メ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 三案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○子爵植村家治君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 植村子爵ノ動議

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

○公爵島津忠承君 演壇ニ登ル

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

○議長(伯爵松平頼壽君) 貢院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

○議長(伯爵松平頼壽君) 委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十七年二月十日

○議長(伯爵松平頼壽君) 委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

内容、體力手帳ノ内容等ニ十分ノ改善ヲ加ヘ、益、蔓延セムトスル結核ノ豫防對策ヲ徹底スルト共ニ、一般虛弱者ニ對シテモ積極的ニ體力ノ増強鍛成ヲ爲サムトスルモノアリマス、以下質疑應答ノ主ナルモノヲ御報告申上げマス、質問ノ第一ハ、從來ノ體力検査ノ方法ニ付テハ尙不十分ノ點ガアルト思フガ、單ニ被管理者ノ範圍ヲ擴張スルヨリハ、寧口検査ノ内容ヲ充實整備スルコトガ先決問題デハナイカトノ質問デアリマス、之ニ對シ政府ハ、昭和十七年度ニ於テ追加豫算約三百萬圓ヲ計上シ、其ノ半額以上ハ從來ノ被管理者ニ對スル検査ノ内容充實ニ當テル豫定デアッテ、之ニ併セテ被管理者ノ範圍ヲ擴張ヲ考慮シタ次第デアルトノ答辯デアリマス、質問ノ第二ハ、本法第二條ニ依リ検査ヲ受クル人數ハドノ位デアルカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、附則ニ依リ更ニ範圍ヲ限定シ、當分ノ内男子ノミトシ、其ノ數ハ約七百二十萬人位ニナルト考ヘルトノ答辯デアリマス、質問ノ第三ハ、第四條第一項ノ但書ノ命令ノ内容ニ付テデアリマスガ、之ニ對シ、體力検査ガ徵兵検査ノ施行期日ニ接近シテ行ハレル場合ニ於テ、徵兵検査トノ重複ヲ避ケル爲、此ノ場合ノ體力検査ニ限リ之ヲ省略スペキ旨命令ヲ以テ定メル豫定デアルトノ答辯デアリマシタ、次ニ國民體力法ノ改正及ビ國民醫療法ハ、國民ノ體力ノ向上及ビ醫療ノ普及ヲ目的トシタモノト思ハレルノデアルガ、是等ノ法案ヲ審議スルニ際シ、國民保健ニ關スル政府ノ

根本國策ニ付テ厚生大臣ヨリ承リタイトノ質問デアリマス、之ニ對シ厚生大臣ヨリ詳細ナル御答辯ガアツタノデアリマスガ、茲ニ報告申上げマス、質問ノ第一ハ、從來ノ體力検査ノ方法ニ付テハ尙不十分ノ點ガアルト思フガ、單ニ被管理者ノ範圍ヲ擴張スルヨリハ、寧口検査ノ内容ヲ充實整備スルコトガ先決問題デハナイカトノ質問デアリマス、之ニ對シ政府ハ、昭和十七年度ニ於テ追加豫算約三百萬圓ヲ計上シ、其ノ半額以上ハ從來ノ被管理者ニ對スル検査ノ内容充實ニ當テル豫定デアッテ、之ニ併セテ被管理者ノ範圍ヲ擴張ヲ考慮シタ次第デアルトノ答辯デアリマス、質問ノ第二ハ、本法第二條ニ依リ検査ヲ受クル人數ハドノ位デアルカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、附則ニ依リ更ニ範圍ヲ限定シ、當分ノ内男子ノミトシ、其ノ數ハ約七百二十萬人位ニナルト考ヘルトノ答辯デアリマス、質問ノ第三ハ、第四條第一項ノ但書ノ命令ノ内容ニ付テデアリマスガ、之ニ對シ、體力検査ガ徵兵検査ノ施行期日ニ接近シテ行ハレル場合ニ於テ、徵兵検査トノ重複ヲ避ケル爲、此ノ場合ノ體力検査ニ限リ之ヲ省略スペキ旨命令ヲ以テ定メル豫定デアルトノ答辯デアリマシタ、次ニ國民體力法ノ改正及ビ國民醫療法ハ、國民ノ體力ノ向上及ビ醫療ノ普及ヲ目的トシタモノト思ハレルノデアルガ、是等ノ法案ヲ審議スルニ際シ、國民保健ニ關スル政府ノ

五歲迄ノ間ニ於テ健康履歴書ヲ完成シタイト考ヘルノデアリマス、之ニ對シ厚生大臣ヨリ詳細ナル御答辯ガアツタノデアリマスガ、茲ニ報告申上げマス、質問ノ第一ハ、從來ノ體力検査ノ方法ニ付テハ尙不十分ノ點ガアルト思フガ、單ニ被管理者ノ範圍ヲ擴張スルヨリハ、寧口検査ノ内容ヲ充實整備スルコトガ先決問題デハナイカトノ質問デアリマス、之ニ對シ政府ハ、昭和十七年度ニ於テ追加豫算約三百萬圓ヲ計上シ、其ノ半額以上ハ從來ノ被管理者ニ對スル検査ノ内容充實ニ當テル豫定デアッテ、之ニ併セテ被管理者ノ範圍ヲ擴張ヲ考慮シタ次第デアルトノ答辯デアリマス、質問ノ第二ハ、本法第二條ニ依リ検査ヲ受クル人數ハドノ位デアルカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、附則ニ依リ更ニ範圍ヲ限定シ、當分ノ内男子ノミトシ、其ノ數ハ約七百二十萬人位ニナルト考ヘルトノ答辯デアリマス、質問ノ第三ハ、第四條第一項ノ但書ノ命令ノ内容ニ付テデアリマスガ、之ニ對シ、體力検査ガ徵兵検査ノ施行期日ニ接近シテ行ハレル場合ニ於テ、徵兵検査トノ重複ヲ避ケル爲、此ノ場合ノ體力検査ニ限リ之ヲ省略スペキ旨命令ヲ以テ定メル豫定デアルトノ答辯デアリマシタ、次ニ國民體力法ノ改正及ビ國民醫療法ハ、國民ノ體力ノ向上及ビ醫療ノ普及ヲ目的トシタモノト思ハレルノデアルガ、是等ノ法案ヲ審議スルニ際シ、國民保健ニ關スル政府ノ

醫地域ニ對シテハ其ノ急速ナル解消ヲ目指シテ、診療所及ビ地方綜合病院ヲ新設シ之ヲ經營スルト共ニ、既存ノ醫療機關ヲ細ナル御答辯ガアツタノデアリマスガ、茲ニ報告申上げマス、質問ノ第一ハ、從來ノ體力検査ノ方法ニ付テハ尙不十分ノ點ガアルト思フガ、單ニ被管理者ノ範圍ヲ擴張スルヨリハ、寧口検査ノ内容ヲ充實整備スルコトガ先決問題デハナイカトノ質問デアリマス、之ニ對シ政府ハ、昭和十七年度ニ於テ追加豫算約三百萬圓ヲ計上シ、其ノ半額以上ハ從來ノ被管理者ニ對スル検査ノ内容充實ニ當テル豫定デアッテ、之ニ併セテ被管理者ノ範圍ヲ擴張ヲ考慮シタ次第デアルトノ答辯デアリマス、質問ノ第二ハ、本法第二條ニ依リ検査ヲ受クル人數ハドノ位デアルカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、附則ニ依リ更ニ範圍ヲ限定シ、當分ノ内男子ノミトシ、其ノ數ハ約七百二十萬人位ニナルト考ヘルトノ答辯デアリマス、質問ノ第三ハ、第四條第一項ノ但書ノ命令ノ内容ニ付テデアリマスガ、之ニ對シ、體力検査ガ徵兵検査ノ施行期日ニ接近シテ行ハレル場合ニ於テ、徵兵検査トノ重複ヲ避ケル爲、此ノ場合ノ體力検査ニ限リ之ヲ省略スペキ旨命令ヲ以テ定メル豫定デアルトノ答辯デアリマシタ、次ニ國民體力法ノ改正及ビ國民醫療法ハ、國民ノ體力ノ向上及ビ醫療ノ普及ヲ目的トシタモノト思ハレルノデアルガ、是等ノ法案ヲ審議スルニ際シ、國民保健ニ關スル政府ノ

經營スル療養所ニ對シテ引續キ從來通リノ
國庫補助等ノ途ヲ講ズルコトハ、形ノ上カ
ラ行キマシテモ困難トナルコトデアリマシ
テ、本質ガ斯クノ如キ既存ノ療養所ハ、寧
ロ新設サレル醫療團ニ統合シテ、一體ト
ナツ目的ヲ達成スルコトガ適當ト考ヘル
ノデアリマス、濟生會等ノ病院、療養所等
ハ特殊ノ目的スルモノデアリ、之ヲ日本醫
療團ニハ統合スル考ハナイトノ答辯デアリ
マシタ、次ハ日本醫療團ニ於テ近イ將來ニ
十萬床ノ療養所ガ出來ルノデアルガ、此ノ十
萬床ニ患者ヲ收容スル方法ニ付テハ如何ニ
スルカ、結核豫防法ハ此ノ機會ニ改正スル
意思ハナイカ、又軍事保護院關係ノ除役者
ノ療養所ト醫療團ノ療養所トノ關係ニ付テ
ノ質問デアリマス、之ニ對シマシテ當局ハ、
將來醫療團ノ療養所ニ收容スル患者ハ、其
ノ生活困難ナル者ニ對シテハ無料若シクハ
其ノ程度ニ應ジテ輕イ費用ノ診療ヲスルコ
トトシタイ、結核ノ爲ニ收容セラレタコト
ニ依テ其ノ家族ガ生活ニ困ラヌヤウニシ
ナケレバナラナイノデ、理想的ニ申スナラ
バ、結核豫防法ヲ改正シマシテ、其ノ收容
ヘルノデアリマスガ、只今ノ所デハ、醫療
保護法乃至ハ救護法ニ依ツテ極ク僅カナガ
ラモ途ヲ開イテ居ル狀態デアリマス、結核
豫防法ノ改正ニ付キマシテハ、一昨年來國
民體力審議會ニ於テ審議サレ、今年ノ初メ
ニ大臣ニ對シテ答申ガ爲サレタノデアリマ

スガ、豫防法全般ニ亘ル改正ハ今議會ニ提
案スルニ至ラナカツタノデアリマス、豫防
法改正ニ關スル答申ニ付キマシテハ、引續
キ之ヲ法制化スルコトニ努メタイトノ答辯
デアリマス、又軍事保護院ノ除役者ヲ收容
スル療養所ト、日本醫療團ヲシテ設立セシ
一ハ厚生省ノ直營スル所デアリ、一ハ厚生
省ノ指道監督ニ屬スルモノデアッテ、其ノ
間密接ナル連絡ヲ執ツテ行キタイト考ヘル、
現在此ノ療養所ハ病床ガ足リナイ狀況デ
アッテ、明年度ノ豫算ニモ相當數ノ増設ニ
關スル費用ヲ計上シテ居ルヤウナ狀況所
アッテ、當分ノ間此ノ除役軍人ノ療養所ハ
存續スル考デアリ、大體將來ノ見透シノ付
イタ時ニ於テ日本醫療團ノ經營スル療養所
ノ豫防、早期發見、治療方法等ニ付種々質
問ハシタイ、結核豫防法ヲ改正シマシテ之ヲ
定メルニ付テハ、醫師會ニ諮詢シ
テ其ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定メタイト思フ、
之ニ依テ醫師會トハ圓滑ニ事務ヲ運用シテ
行ケルト考ヘルトノ答辯デアリマス、次ノ
質問ハ、國民健康保險組合ニ赤字ノ出テ居
ル組合ガアルガ、之ガ對策ニ付テノ質問デ
アリマス、之ニ對シマシテ政府ハ、之ガ對
策ニ付テハ醫療內容ニ付テ先づ濫診濫療ニ
陷ルコトナキヤウ、保險醫並ニ被保險者ヲ
指導シ或程度ノ規正ヲ加ヘルコトシ、之
ニ依リ大部分ハ補填ノ見込ハ立ツト考ヘル
トノ答辯デアリマシタ、更ニ濫診濫療ノ事
實ナキ眞ノ赤字ノ出ル組合ニ付テハ如何ニ
スルカトノ質問ニ對シマシテ、是迄ハ組合ノ内

實ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、質問
ノ第一ハ、健康保險組合ヲ將來トモ發達助
長サセル考デアルカトノ質問ニ對シマシテ、
工場鑛山等ニ於テ健康保險組合ガ設置セラ
レ健康保險ノ運營ニ當ルコトハ、政府管掌
ノ場合ヨリ一層良好ノ行届イタ運營ヲナス
モノト考ヘル、將來トモ一層其ノ健全ナル
發達ニ努メタイトノ答辯デアリマシタ、次
ハ診療報酬等ニ付テハ、從來醫師會ト契約
シテ定メテ居ルヤウデアルガ、今後醫師會
トノ關係ハ如何ニスルカトノ質問ニ對シマ
シテ、從來ハ一般保險醫ノ診療費ニ付テハ
大日本醫師會トノ契約ニ依ツテ定メ、他ノ官
公立病院等トハ個々ニ契約ヲシタノデアリ
マスガ、本改正案ガ通過後ハ、厚生大臣ニ
於テ其ノ額ヲ定メルコトトナルノデアリマ
スガ、之ヲ定メルニ付テハ、醫師會ニ諮詢シ
テ其ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定メタイト思フ、
之ニ依テ醫師會トハ圓滑ニ事務ヲ運用シテ
行ケルト考ヘルトノ答辯デアリマス、次ノ
質問ハ、國民健康保險組合ニ赤字ノ出テ居
ル組合ガアルガ、之ガ對策ニ付テノ質問デ
アリマス、之ニ對シマシテ政府ハ、之ガ對
策ニ付テハ醫療內容ニ付テ先づ濫診濫療ニ
陷ルコトナキヤウ、保險醫並ニ被保險者ヲ
指導シ或程度ノ規正ヲ加ヘルコトシ、之
ニ依リ大部分ハ補填ノ見込ハ立ツト考ヘル
トノ答辯デアリマシタ、更ニ濫診濫療ノ事
實ナキ眞ノ赤字ノ出ル組合ニ付テハ如何ニ
スルカトノ質問ニ對シマシテ、是迄ハ組合ノ内

容ニ付十分ニ指導シ得ナカツタ憾ミガアリ
マスガ、本年ノ擴張ニ依リ組合ヲ増加スル
コトハ略、其ノ目的ヲ達スルノデアリマス
カラ、進ンデ内容ニ付視察検討ヲ行ヒタイ
ト思フ、尙保險料ノ増率、年度末ニ於ケル
特別補助等ニ依リ財政ノ立直シニ努メタイト
ト思フ、又廣ク產業組合等ヲシテ代行セシ
ムル途ヲ開イタコトハ、國民健康保險組合
ニ無理ヲナサシメナイコトニ役立ツト考ヘ
ルトノ答辯デアリマシタ、最後ニ戰時災害
保護法案ニ付テ御報告申上ゲマス、本法案
ハ戰時灾害ニ因リ危害ヲ受ケタ者、並ニ其
ノ家族及遺族ニシテ帝國臣民タル者ヲ應急
的又ハ一定期間保護スルト共ニ、戰時灾害
ニ因リ身體財產ニ危害ヲ受ケタ場合ニ給與
金ヲ支給スルコトヲ目的トスルモノデアリ
マス、質問ノ第一ハ、救助ニ關シ防空法ト
ノ關係及食料品ノ給與ニ關シ農林省トノ關
係如何トノ質問デアリマス、之ニ對シマシ
テ政府ハ、救助ニ於ケル收容施設ノ供與ト
ハ、罹災者ノ一時避難所及假設住宅ノ設置
デアリマシテ、防空ノ爲ノ避難所デハナイン
テアリマス、之ニ對シマシテ政府ハ、之ガ對
策ニ付テハ醫療內容ニ付テ先づ濫診濫療ニ
陷ルコトナキヤウ、保險醫並ニ被保險者ヲ
指導シ或程度ノ規正ヲ加ヘルコトシ、之
ニ依リ大部分ハ補填ノ見込ハ立ツト考ヘル
トノ答辯デアリマシタ、更ニ濫診濫療ノ事
實ナキ眞ノ赤字ノ出ル組合ニ付テハ如何ニ
スルカトノ質問ニ對シマシテ、是迄ハ組合ノ内

第一ノ質問ハ、第七條ノ勅令ヲ以テ定ムル
者トハ何デアルカ、又第九條ノ施設及物資

ヲ保管セシムル者トハ何ヲ指スノデアルカ
トノ質問ニ對シマシテ、第七條ノ勅令ヲ以
テ定ムル者トハ、醫療關係者及建築關係技
能者ヲ豫定シテ居リ、又第九條ノ施設トハ、
旅館、料理屋、飲食店、病院等ニアリマシ
テ、物資ヲ保管セシメル者トハ、食糧營團、
重要物資管理營團等ニ依ル保管ノミデハ足
ラナイ場合、地方長官ニ於テ必要トスル物
資ノ製造、販賣、保管フ業トスル者等ヲ指
スノデアリマストノ答辯デアリマシタ、第
三ノ質問ハ、第十八條第一項ノ勅令ヲ以テ
定ムル期間トハドノ位デアルカトノ質問ニ
對シマシテ、政府ハ、危害ヲ受ケタトキヨ
リ十年トスル積リデアルトノ答辯デアリマ
シタ、尙此ノ外種々重要ナル質疑應答ガ交
ハサレタノデアリマスガ、詳細ハ速記録ニ
依リ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、五案ノ
質疑應答ヲ終リマシテ、討論ニ移リマ
シテ、先づ國民體力法中改正法律案及國
民醫療法案ヲ議題ト致シマシタ處、數名ノ
委員ヨリ發言ガアリマシテ、ソレベ一二
ノ希望ヲ述べラレテ兩案ニ賛成ノ意ヲ表サ
レタノデアリマス、此處ニ其ノ大要ヲ纏メ
テ申上げタイト思ヒマス、此ノ度新タニ計
畫サレタ醫療團ノ仕組ハ、醫療體系ノ上ニ
タイノデアル、又結核ノ撲滅ト云フ事柄ハ
此ノ醫療團ノ目的ノ一つデアツテ、其ノ計畫
ノ實施ニ際シ、地方民ト長イ間情誼ト信賴
トヲ持ツテ居ル所ノ地方當局ト、十分ナル理

解ト連絡フ保タレムコトヲ希望スル、又從
來關係ノ深カツタ政府、府縣、市町村等ノ醫
療方面ノ仕事ガ醫療團ノ方ニ大部分移ルヤ
ウナ結果是等ニ從來携テ居タ人々ノ此ノ
旅館、料理屋、飲食店、病院等ニアリマシ
テ、物資ヲ保管セシメル者トハ、食糧營團、
重要物資管理營團等ニ依ル保管ノミデハ足
ラナイ場合、地方長官ニ於テ必要トスル物
資ノ製造、販賣、保管フ業トスル者等ヲ指
スノデアリマストノ答辯デアリマシタ、第
三ノ質問ハ、第十八條第一項ノ勅令ヲ以テ
定ムル期間トハドノ位デアルカトノ質問ニ
對シマシテ、政府ハ、危害ヲ受ケタトキヨ
リ十年トスル積リデアルトノ答辯デアリマ
シタ、尙此ノ外種々重要ナル質疑應答ガ交
ハサレタノデアリマスガ、詳細ハ速記録ニ
依リ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス、五案ノ
質疑應答ヲ終リマシテ、討論ニ移リマ
シテ、先づ國民體力法中改正法律案及國
民醫療法案ヲ議題ト致シマシタ處、數名ノ
委員ヨリ發言ガアリマシテ、ソレベ一二
ノ希望ヲ述べラレテ兩案ニ賛成ノ意ヲ表サ
レタノデアリマス、此處ニ其ノ大要ヲ纏メ
テ申上げタイト思ヒマス、此ノ度新タニ計
畫サレタ醫療團ノ仕組ハ、醫療體系ノ上ニ
タイノデアル、又結核ノ撲滅ト云フ事柄ハ
此ノ醫療團ノ目的ノ一つデアツテ、其ノ計畫
ノ實施ニ際シ、地方民ト長イ間情誼ト信賴
トヲ持ツテ居ル所ノ地方當局ト、十分ナル理

國民總テガ醫ノ心ヲ持タナケレバナラナイ
ト云フ、斯ウ云フ趨勢ノ下ニ此ノ法案ガ生
れテ來タト云フ所ニ畫期的意味ガアルト考
ヘルノデアリマス、如何ナル法案ト雖モ、
其ノ運用如何ト云フコトガ非常ニ重大ナコ
トデアルガ、殊ニ此ノ醫療法ノ實施乃至運
用ニハ强大ナル權力ガ働くモノデアリ、且
ソレハ可ナリ立入タ統制ガ醫界ニ加ヘラ
レルモノデアリマス、凡ソ統制ノ要諦ハ、
徒ニ統制ノ爲ノ統制デアツテハナラナイノ
デアリマス、特ニ醫界ニ對スル統制ニ依リ
マシテ、良イ眞面目ナ醫者ガ抑ヘラレ、又
惡イ狡イ者ガ統制ノ名ニ隠レテ恣意ヲ逞シ
ウセスヤウ、萬全ノ御注意ヲ願ヒタイノデ
アル、ソレ故ニ當局ニ於テハ、本案ガ立案
サレ、又是ガ通過茲ニ成立ニ一方ナラヌ努
力ヲ拂ハレマシタ其ノ御努力以上ノ努力
ヲ、特ニ此ノ運用茲ニ實施ニ付テ拂ツテ戴キ
タイコトヲ切望スル次第デアリマス、大體
以上ノヤウナ希望ヲ述ベラレ、各委員ハ兩
案ニ賛成ノ旨ヲ述ベラレマシテ、採決ノ結
果、兩案ハ全會一致ヲ以テ原案通り可決セ
ラレタノデアリマス、次ニ健康保險法中改
正法律案、國民健保保險法中改正法律案、
戰時災害保護法案ニ付キマシテハ何等ノ發
言モナク、採決ニ移リ全會一致ヲ以テ三案
共何レモ原案通り可決セラレタ次第デアリ
マス、以上御報告ヲ終リマス

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵植村家治君 賛成
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第一讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問
題ニ供シマス、五案全部、委員長ノ報告通
リデ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第一讀會
ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 直チニ各案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第三讀會
ヲ開キマス、五案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセスカ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、五案ノ採決ヲ致シマス、五案ノ第二

委セテ置カズ、社會モ亦關心ヲ持チ、寧ロ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、是ニテ休憩ヲ致シマス、午後一時
ヨリ開會致シマス

午前十一時五十一分休憩
午後一時二十三分開議

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サ
セマス

〔高山書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案
ハ直チニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院
ニ通知セリ

南方開發金庫法案

國民再生金庫法中改正法律案

帝國石油株式會社法中改正法律案

重要物資管理營團法案

帝國礦業開發株式會社法中改正法律案

帝國燃料興業株式會社法中改正法律案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時
補足ニ關スル法律案

食糧管理法案

國民體力法中改正法律案

國民醫療法案

健康保險法中改正法律案

國民健康保險法中改正法律案

戰時災害保護法案

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
所得稅法中改正法律案可決報告書
法人稅法中改正法律案可決報告書
所得稅法人稅内外地關涉法中改正法律案
可決報告書

相續稅法中改正法律案可決報告書
織物消費稅法中改正法律案可決報告書
物品稅法中改正法律案可決報告書
電氣瓦斯稅法案可決報告書
廣告稅法案可決報告書
馬券稅法案可決報告書
印紙稅法中改正法律案可決報告書
臨時利得稅法中改正法律案可決報告書
特別法人稅法中改正法律案可決報告書
營業稅法中改正法律案可決報告書
臨時租稅措置法中改正法律案可決報告書
國庫出納金端數計算法中改正法律案可決報告書
戰時災害國稅減免法案可決報告書
所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案可決報告書
地方分與稅法中改正法律案可決報告書

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ休憩前ニ引継ギ會議ヲ開キマス、日程第十五、日本銀行法案、日程第十六、戰時金融金庫法案、日程第十七、臨時資金調整法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、委員長溝口伯爵

日本銀行法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日 委員長 伯爵溝口 直亮
貴族院議長伯爵松平頼壽殿 战時金融金庫法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日

委員長 伯爵溝口 直亮
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

臨時資金調整法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十日

委員長 伯爵溝口 直亮
貴族院議長伯爵松平頼壽殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕
○伯爵溝口直亮君 只今議題ニ供セラレマ
シタ日本銀行法案外二案ノ特別委員會ニ於
キマスル経過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、
此ノ三案ハ本月六日ヨリ九日ニ亘リ、三回
委員會ヲ開會致シマシテ、何レモ政府原案
ヲ可決致シマシタ、是ヨリ各案ニ付キマシ
テ逐次委員會ノ模様ヲ申述ベタイト存ジマ
ス、先づ最初ニ日本銀行法案、本法案ノ改
正ノ主點ハ三ツゴザイマス、第一ハ、日本
銀行ニ今ノ日本銀行ヨリモモット公的ノ性
ヨリモ多イ權能ヲ與ヘマス、第三ハ、兌換

制度ヲ改正致シマシテ所謂金本位ヲ離脱ス
ルト云フ此ノ三點ニゴザイマス、次ニ質問
應答ノ中ノ主ナルモノヲ申上げマス、可ナ
リ日本銀行法案ニ付テハ質問應答等ハ多分
ニゴザイマシタ、只今此處デ全般ニ亘ツテ申
上ゲルコトハ省キマシテ、ドウゾ速記録ニ
ハドウデアルカト云フ間ニ對シマシテ、政
府ハ民法ニ規定スル所ノ社團若シクハ財團
法人デモナケレバ、又商法ニ規定スル會社
デモナイ

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ著ク〕

所謂一種ノ特殊法人デアル、併シナガラ本
法ノ第一條、第二條ニ規定スル所ハ、全然
公的ノ性質デアルケレドモ、其ノ公的ノ性
質ト云フノハ一般的ノ性質ヲ言フノデアツ
テ、個々ノ行爲ニ付テハ商行爲ガ含シデ居
ル、即チ其ノ行爲ニ付テハ商人ト看做スベ
キモノデアツテ、從ツテ商法ノ規定ヲ適用サ
レルモノデアルト云フ御答デゴザイマシ
タ、其ノ次ニ問題トナリマシタノハ、日本
銀行ノ資本金ガ今回増シマシテ一億ニナリ
マシタガ、是ハ東亞共榮圈ノ中権ノ銀行ト
シテハ、餘リニ小サイモノデナイカト云
フ質問ニ對シマシテ、政府ハ、今迄ノ各國
ノ中央銀行其ノ他ノ總テ模様ヲ見テモ敢テ
小サイトハ思ハナイ、是デ大體ニ於テ差支
ナイモノダト云フ御答デゴザイマス、ソレ
カラ最モ問題ニナリマシタノハ、金兌換制度
即チ金本位ヲ離脱スルト云サセモ付テノ

御質問ガ、各種ノ方面カラ色々ナル形式ヲ以テ質疑應答ガ行ハレマジタガ、ソレハ々申上ダマセヌデ、寧ロ大藏大臣ガ本問題ニ付テ言明サレタ所ヲ綜合シテ申上ゲタ方ガ、却テ御了解ニ都合ガ好イカト存ジマス、從ヒマシテサウ云フ點カラ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ハ、金本位ト云フモノヲ實際ニ於テ離脱シタノハ、既ニ遠イ十年モ昔ノ昭和七年ノ時ニ金ノ價格ヲ改定シタ時カラジテ、實際ノ圓ト金ト云フモノハ、貨幣法其ノ他ニ於テ規定スルガ如キ兌換券ノ性質トハ實際ハ變ツテ來テ居ルノダ、唯是ハ、今回ニ於テ之ヲ明ガニシタノハ色々理由ガアルコトデアル、元來今ノ考カラ申シマスト、貨幣ト云フモノガ金ノミト直接關聯ヲシテ行クト云フノハ、寧ロ古イ考デアル、今ノ所カラ言ヘバ國ノ持ッテ居ル總力ト比較スペキモノデアツテ、國ノ信用ド云フモノガ基礎ニナルノデアル、從ヒテ金ト云フモノノ重要性ハ敢テ昔ト變ラナイ、即チ金ハ一つノ賣買スペキ物トシテノ性質ハ變ラナイガ、併シ是ノミヲ以テ貨幣ノ價值ヲ決メルト云フコトハ適當トハ思ヘナシ、ソコデ此ノ日本銀行法ヲ改正シタノニハ主ナ所ニハ三ツ理由ガアル、第一ハ、元來ノ日本銀行條例ト云フモノハモウ既ニ非常ニ長イ年月ヲ經テ居ルモノデ、其ノ規定其ノ他ニ於テハドウシテモ現時ノ要求ニ合ハナイモノガアルシ、法文等ニ於テモ整理シナクチヤナラナイモノガアルカラシテ、此ノ際改正スルノガ至當デアル、ソレカラ第二ニ

ハ、此ノ度東亞共榮圈、是等ノ經濟ノ中心トナシテ日本が働カナケレバナラヌガ、此ノ共榮圈中ニハ、マダ金本位ト云フコトヲ、方ガ、却テ御了解ニ都合ガ好イカト存ジマス、從ヒマシテサウ云フ點カラ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ハ、金本位ト云フモノヲ實際ニ於テ離脱シタノハ、既ニ遠イ十年モ昔ノ昭和七年ノ時ニ金ノ價格ヲ改定シタ時カラジテ、實際ノ圓ト金ト云フモノハ、貨幣法其ノ他ニ於テ規定スルガ如キ兌換券ノ性質トハ實際ハ變ツテ來テ居ルノダ、唯是ハ、今回ニ於テ之ヲ明ガニシタノハ色々理由ガアルコトデアル、元來今ノ考カラ申シマスト、貨幣ト云フモノガ金ノミト直接關聯ヲシテ行クト云フノハ、寧ロ古イ考デアル、今ノ所カラ言ヘバ國ノ持ッテ居ル總力ト比較スペキモノデアツテ、國ノ信用ド云フモノガ基礎ニナルノデアル、從ヒテ金ト云フモノノ重要性ハ敢テ昔ト變ラナイ、即チ金ハ一つノ賣買スペキ物トシテノ性質ハ變ラナイガ、併シ是ノミヲ以テ貨幣ノ價值ヲ決メルト云フコトハ適當トハ思ヘナシ、ソコデ此ノ日本銀行法ヲ改正シタノニハ主ナ所ニハ三ツ理由ガアル、第一ハ、元來ノ日本銀行條例ト云フモノハモウ既ニ非常ニ長イ年月ヲ經テ居ルモノデ、其ノ規定其ノ他ニ於テハドウシテモ現時ノ要求ニ合ハナイモノガアルシ、法文等ニ於テモ整理シナクチヤナラナイモノガアルカラシテ、此ノ際改正スルノガ至當デアル、ソレカラ第二ニ

ハ、此ノ度東亞共榮圈、是等ノ經濟ノ中心トナシテ日本が働カナケレバナラヌガ、此ノ共榮圈中ニハ、マダ金本位ト云フコトヲ、方ガ、却テ御了解ニ都合ガ好イカト存ジマス、從ヒマシテサウ云フ點カラ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ハ、金本位ト云フモノヲ實際ニ於テ離脱シタノハ、既ニ遠イ十年モ昔ノ昭和七年ノ時ニ金ノ價格ヲ改定シタ時カラジテ、實際ノ圓ト金ト云フモノハ、貨幣法其ノ他ニ於テ規定スルガ如キ兌換券ノ性質トハ實際ハ變ツテ來テ居ルノダ、唯是ハ、今回ニ於テ之ヲ明ガニシタノハ色々理由ガアルコトデアル、元來今ノ考カラ申シマスト、貨幣ト云フモノガ金ノミト直接關聯ヲシテ行クト云フノハ、寧ロ古イ考デアル、今ノ所カラ言ヘバ國ノ持ッテ居ル總力ト比較スペキモノデアツテ、國ノ信用ド云フモノガ基礎ニナルノデアル、從ヒテ金ト云フモノノ重要性ハ敢テ昔ト變ラナイ、即チ金ハ一つノ賣買スペキ物トシテノ性質ハ變ラナイガ、併シ是ノミヲ以テ貨幣ノ價值ヲ決メルト云フコトハ適當トハ思ヘナシ、ソコデ此ノ日本銀行法ヲ改正シタノニハ主ナ所ニハ三ツ理由ガアル、第一ハ、元來ノ日本銀行條例ト云フモノハモウ既ニ非常ニ長イ年月ヲ經テ居ルモノデ、其ノ規定其ノ他ニ於テハドウシテモ現時ノ要求ニ合ハナイモノガアルシ、法文等ニ於テモ整理シナクチヤナラナイモノガアルカラシテ、此ノ際改正スルノガ至當デアル、ソレカラ第二ニ

ハ、此ノ度東亞共榮圈、是等ノ經濟ノ中心トナシテ日本が働カナケレバナラヌガ、此ノ共榮圈中ニハ、マダ金本位ト云フコトヲ、方ガ、却テ御了解ニ都合ガ好イカト存ジマス、從ヒマシテサウ云フ點カラ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ハ、金本位ト云フモノヲ實際ニ於テ離脱シタノハ、既ニ遠イ十年モ昔ノ昭和七年ノ時ニ金ノ價格ヲ改定シタ時カラジテ、實際ノ圓ト金ト云フモノハ、貨幣法其ノ他ニ於テ規定スルガ如キ兌換券ノ性質トハ實際ハ變ツテ來テ居ルノダ、唯是ハ、今回ニ於テ之ヲ明ガニシタノハ色々理由ガアルコトデアル、元來今ノ考カラ申シマスト、貨幣ト云フモノガ金ノミト直接關聯ヲシテ行クト云フノハ、寧ロ古イ考デアル、今ノ所カラ言ヘバ國ノ持ッテ居ル總力ト比較スペキモノデアツテ、國ノ信用ド云フモノガ基礎ニナルノデアル、從ヒテ金ト云フモノノ重要性ハ敢テ昔ト變ラナイ、即チ金ハ一つノ賣買スペキ物トシテノ性質ハ變ラナイガ、併シ是ノミヲ以テ貨幣ノ價值ヲ決メルト云フコトハ適當トハ思ヘナシ、ソコデ此ノ日本銀行法ヲ改正シタノニハ主ナ所ニハ三ツ理由ガアル、第一ハ、元來ノ日本銀行條例ト云フモノハモウ既ニ非常ニ長イ年月ヲ經テ居ルモノデ、其ノ規定其ノ他ニ於テハドウシテモ現時ノ要求ニ合ハナイモノガアルシ、法文等ニ於テモ整理シナクチヤナラナイモノガアルカラシテ、此ノ際改正スルノガ至當デアル、ソレカラ第二ニ

ハ、此ノ度東亞共榮圈、是等ノ經濟ノ中心トナシテ日本が働カナケレバナラヌガ、此ノ共榮圈中ニハ、マダ金本位ト云フコトヲ、方ガ、却テ御了解ニ都合ガ好イカト存ジマス、從ヒマシテサウ云フ點カラ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ハ、金本位ト云フモノヲ實際ニ於テ離脱シタノハ、既ニ遠イ十年モ昔ノ昭和七年ノ時ニ金ノ價格ヲ改定シタ時カラジテ、實際ノ圓ト金ト云フモノハ、貨幣法其ノ他ニ於テ規定スルガ如キ兌換券ノ性質トハ實際ハ變ツテ來テ居ルノダ、唯是ハ、今回ニ於テ之ヲ明ガニシタノハ色々理由ガアルコトデアル、元來今ノ考カラ申シマスト、貨幣ト云フモノガ金ノミト直接關聯ヲシテ行クト云フノハ、寧ロ古イ考デアル、今ノ所カラ言ヘバ國ノ持ッテ居ル總力ト比較スペキモノデアツテ、國ノ信用ド云フモノガ基礎ニナルノデアル、從ヒテ金ト云フモノノ重要性ハ敢テ昔ト變ラナイ、即チ金ハ一つノ賣買スペキ物トシテノ性質ハ變ラナイガ、併シ是ノミヲ以テ貨幣ノ價值ヲ決メルト云フコトハ適當トハ思ヘナシ、ソコデ此ノ日本銀行法ヲ改正シタノニハ主ナ所ニハ三ツ理由ガアル、第一ハ、元來ノ日本銀行條例ト云フモノハモウ既ニ非常ニ長イ年月ヲ經テ居ルモノデ、其ノ規定其ノ他ニ於テハドウシテモ現時ノ要求ニ合ハナイモノガアルシ、法文等ニ於テモ整理シナクチヤナラナイモノガアルカラシテ、此ノ際改正スルノガ至當デアル、ソレカラ第二ニ

前ヲ附ケルノニモ及バナイト思フ、ソレカラシタ、ソレカラ次ニ、戰時金融金庫法ト云フ名デアッテ、其ノ第一條ニ於テ「戰時ニ際シ」ト云フガ、今迄ノ法律ニ於テ戰時ニシト云フ場合ニハ、戰爭ガ濟シダラバ此ノ法律ト云フモノハ施行シナイト云フ風ナコトニナシテ居ルノダガ、此ノ金庫ト云フモノハ、假令戰爭ガ濟シデモ直グソレヲ止メタナラバドウニモナルマイト思フガ、政府ノ所見ハドウデアルカト云フ質問ニ對シテ、政府ハ御尤デ、其ノ通リデアル、戰爭終結スルモ即時本金庫ハ解散スルト云フ考デハナイ、善後ノ措置ヲシナケレバナラズ、尙ソレカラ續ケナクチヤナラナイ仕事モアル、ガ併シ戰爭ガ濟シダラバ、新タニ融資ヲスルトカ、新タニ仕事ヲスルトカ云フヤウナコトハシナイケレドモ、今迄ヤツタ仕事ノ善後措置、若シクハ其ノ片ヲ付ケルコト、ソレ等ニ付テハ尙戰爭ガ濟シデモ本法ガ働クト思フ、尙戰後ノ經營其ノ他ニ於テ色々本金庫ノ如キモノノ必要ヲ感ズルノハ勿論デアルガ、是ハ又別ニ新タナ立法ヲスルカ、若シクハ本法ヲ改正シテ別ノ手段ヲ講ズル必要ガラウト思フト云フ御答デゴザイマシタ、次ニ臨時資金調整法中改正法律案、是ノ大體ノコトヲ申上ゲマスト、此アルガ、戰時必要ナルモノデ、之ヲ實行スルモノニハ、決シテ惡質ト云フ名テ此ノ本金庫ト產業設備營團及命令融資ノ兩者トノ關係ニ付テモ二三質疑應答ガアリ

ノ改正ノ主點ハ色々ザイマスガ、最モ主ナコトヲ申上ゲマスト、興業債券ノ發行限度ヲ二十億圓ヨリ五十億圓ニ擴張スルコトガ一ツ、ソレカラ商工債券ノ發行限度ヲ擴張シ、五千萬圓ヲ限リテ超過發行ヲスルコトガ出來ルヤウニシタコトガ一ツ、ソレカラ貯蓄債券ノ發行限度ヲ十億圓ヨリ二十億圓ニ、報國債券ノ發行限度ヲ五億圓ヨリ十五億圓ニ擴張スルコトガ一ツ、ソレカラ貯蓄債券ノ券面金額ガ二十圓以下デアルノヲ三十圓以下ニ引下グ、又報國債券ノ抽籤ヲ毎年一回以上行フコト、アル制限ヲ撤廢シタ、其ノ他チヨイヽシタコトハゴザイマスガ、今申上ゲタ點ガ主ナルモノデゴザイマス、之ニ付テ政府カラ詳シイ其ノ理由ノ御説明ガゴザイマシタガ、要スルニ現行ノ規範ニ依リマス金額デハ足リナイカラシテ、ドウシテモ是ダケ引上ゲナケレバ將來ノ需要ニ應ズルコトガ出來ナイト云フノガ、主ナル理由デゴザイマス、之ニ付キマシテノ質疑應答ノ主ナルモノヲ申上ゲマスト、第一ハ、國債ガ今度本議會デ定メラレマシタ額デモ可ナリ莫大ナ額ニ上ツテ居ル、其ノ上ニ必要ナル社債其ノ他ガ隨分出ナクチヤナラナイガ、是等ノ償還ニ付テハ御懸念ハナテ戰争遂行ノ爲ニ必要ナル資金ト云フモノハ同一ニ看做シテ居ル、ソレデ物動計畫ニ依ツテ資金計畫ヲ樹テ、之ニ必要ナル金ハ藏大臣ヨリ、只今デハモウ公債モ社債モ總テ戰争遂行ノ爲ニ必要ナル資金ト云フモノ決シテ日本銀行券ヲ増發スルコトニ依ラナ

クツテモ十分調達が出来ル見込デアリ、是方
爲ニハサッキ日本銀行法デ申上ゲタ通りニ
國民貯蓄奨勵ガ最モ必要デアル、公債、社
債等ノ調達ニ付テハ決シテ御心配ハナイト
云フ御答デゴザイマシタ、其ノ他尙二三質
問御答ガゴザイマシタガ、是ハ速記録ニ付
テ御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、以上ノ質問
答ガ濟ミマシタ後ニ、戰時金融金庫法案
並ニ臨時資金調整法中改正法律案、此ノ二
案ヲ一括シテ議題ニ供シマシテ、討論ニ移
リマシク處、是エ御發言ガゴザイマセヌ、
次イデ採決ニ移リマシテ、二案トモ滿場一
致ヲ以テ政府原案ヲ可決承認ヲ致シマシ
タ、右御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマズ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマズ

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマズ

○議長(伯爵松平頼壽君) 三案ノ第三讀會
ヲ開キマス 三案全部、第二讀會ノ決議通
リテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマズ

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第十八、昭
和十五年度歲入歲出總決算、昭和十五年度
各特別會計歲入歲出決算報告、日程第十
九、昭和十五年度國有財產增減總計算書報
告、會議、委員長報告、是等ノ一件ヲ一括
シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマズ

東稅務署、西宮稅務署、高崎稅務署、西宮稅務署、水道橋稅務署、龜戶稅務署、名古屋南稅務署、水道橋稅務署、王子稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ一二件、龜戶稅務署、玉造稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ二件、第三項營業収益稅中高崎稅務署、水道橋稅務署、王子稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件

昭和十四年度歲入歲出總決算歲入臨時部第十款臨時利得稅第一項臨時所得稅中高崎稅務署、水道橋稅務署、王子稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三件、玉造稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ二件、水道橋稅務署ノ徵收不足ニ係ル件、水道橋稅務署ノ徵收過ニ係ル件

ノ増減ノ理由ハ煩雜ニ瓦リマスカラ茲ニハ申上ゲマセヌ、是ヨリ審査ノ結果ヲ申上ゲマス、政府ノ措置適切ナラザルモノト決議致シマシタモノ五件ゴザイマス、其ノ第一ハ、昭和十五年度一般會計歳出ニ於キマシテ、農林省所管ニ於テ、富山縣ニ荒廢森林復舊事業助成費及森林治水事業助成費ト致シマシテ合計四千五百餘圓支出セシ件デ、同縣ニテ右所要事業ノ施行ニ當リマシテ、同縣ノ技手某ガ人夫賃請求書等ヲ作爲シテ、県カラ事業費ヲ騙取シタルニ因リ、右國庫助成費ハ補助超過トナリタルモノデ、農林省ハ之ニ對シ遺憾ノ意ヲ表シ、今後斯カル事犯ノ再び起ラヌヤウ縣ニ嚴重ナル注意ヲ加ヘタイト辨明致シマシタガ、畢竟農林省ノ監督不行届ノ結果ト致シマシテ、當局ノ反省ヲ強く促シテ置ク必要カラ、冒頭ノ決議ヲ致シマシタ次第アリマス、第二ハ、昭和十五年度各特別會計歳出ニ於テ、遞信省所管通信事業費ニテ、郵便局從業員ガ二年又ハ三年ノ長期ニ亘リ文書偽造、業務上ノ横領等ノ犯罪ニ基因シマシテ、多額ノ缺損シテ居リマスモ、此ノ種犯罪ガ毎年多數アリマシテ其ノ跡ヲ絶タザルハ當局ノ措置宜シタル件デ、當局ハ之ニ對シ遺憾ノ意ヲ表シカラザルニ依ルモノト致シマシテ、冒頭ノ決議ヲ致シマシタ、第三ハ、昭和十五年度各特別會計歳出ニ於キマシテ、鐵道省所管資本勘定ニテ、同省ノ支出ニ係ル北海道

函館五稜郭ニテ降雨ノ爲建設中ノ路線崩壊シ、其ノ線路ノ變更ヲナシタルニ依リ、既時已ムヲ得ザル不可抗力ノ豪雨等ニ基ク旨成部分ノ工費竝ニ材料費一萬八千餘圓ノ損失ヲ生ズルニ至ツタ件デ、鐵道省トシテハ當ラバ防ギ得タ損害デアツタシテ、冒頭ノ決議ヲ致シマシタ、第四八既往年度分昭和十三年度各特別會計歲出ニ於キマンテ、拓務省所管朝鮮總督府ニテ京城土木出張所ノ支出ニ係ル治水事業費七千五百餘圓ニ關スルモノニテ、同土木出張所ニテ總督府技手某等ガ共謀シテ、二箇年ニ瓦ル長期間、實際使役セザル人夫ヲ使役セルモノノ如ク裝ヒ、關係書類ヲ作爲シテ騙取セルモノニテ、當局モ遺憾ノ意ヲ表シテ居リマスガ、二箇年ノ長キニ瓦リ斯カル犯罪ニ氣付カザリシコトハ、誠ニ總督府ノ監督不行届ニ依ルモノト致シマシテ、冒頭ノ決議ヲ致シマシタ、第五八、同ジク昭和十四年度冬特別會計歲出ニ於テ、拓務省所管朝鮮總督府ニテ、新義州營林署ノ支出ニ係ル營林署事業費ヲ、同營林署ノ雇員某ガ昭和十四年二月ヨリ十五年四月ニ至ル間ニ、雇傭人ノ給料及囑託手當等關係書類ヲ作爲シテ詐取セルモノニテ、犯罪事實發覺後詐取シタ全部ノ決議ヲ致シマシタ、以上五件ノ外ニ、政府

ニ對シ將來ノ注意ヲ促スバキモノト認ムルモノガ九十七件ゴザイマスガ、其ノ主ナ正濟又ハ徵收濟ニナツテ居リマス、其ノ他ハ物件ノ收納又ハ購入、補助金ノ交付ニ、其入措置宜シキヲ得ザリシモノニ依ルモノデアリマス、其必他全部異議ナシト云フコトニ決シマシタ、決算委員會、分科會ヲ通シテノ質疑應答ノ内容ノ詳細ニ付キマシテハ、速記錄ニ依ツテ御承知ヲ願フコトニ致シマシテ、茲デハ其ノ主ナルモノノ二三ニ付御報告申上ゲマス、即チ一委員ヨリ、臨時軍事費ノ決算ニ付テハ、前議會ノ決算委員會デモ問題ニナリマシタガ、此ハ長期戰デハ何年經ツタラ其ノ決算ガ行ヘルカ目安ノ付カヌコトデアリマシテ、實際ニ十年十五年ノ後ニアノ厖大ナモノヲ一遍ニ出サレテモ、一議會ノ短期間ニ於テハ審議ハ容易デナク、責任者モ居ナクナリマスカラ、軍機ノ漏洩ヲ防グ方法ヲ考ヘテ、一應ハ三四年デ之ヲ區切ルトカ或ハ支那事變デ區切ルトカシテ、適當ナ措置ヲ講ズル考ハナイカトノ質疑アリタルニ對シマシテ、政府委員ヨリ、個々ノ部隊々々ノ月々ノ決算ヲスルコトデアレバ、多少時期ガ遅レルコトデ出來ルガ、全度デ區切ツテ幾十幾百ノ項目ニ整理決算スルコトハ、極メテ困難或ハ殆ド不可能デアル、モウ一つハ途中デ決算ヲスルト、會計經理ノ上カラ軍ノ作戦ノ内容ガ敵國ニ知レ

ル懸念ガアリマスカラ、今日ノ所デハ途由
デ區切ッテ決算スルコトハ考ヘテ居ラズ、其
ノ代リ平素ノ收支ニ付テハ責任ヲ以テ嚴正
ヲ期シ、内面的ニハ整理ヲシテ検査院ノ檢
査ヲ受ケテ居ルトノ答辯デアリマシタ、又
一委員ヨリ、現在民間デハ厘位ノ取引ハナ
ク、實際厘ト云フ貨幣モ使ッテ居ナイカラ、
政府デモ豫算決算ニ當リマシテ、此ノ厘位
ヲ省イタラ手數ガ簡略ニナツテ宜イデハナイ
カトノ質疑アリタルニ對シマシテ、政府委
員ヨリ、國庫出納金端數計算法其ノ他一二
ノ勅令ニ基クモノデアルガ、實際問題トシ
テハ爲替關係ニノミ此ノ問題ガ生ジ、是ハ
如何ニモ時勢ニ適セザルヤノ憾モアリマス
ガ、此ノ關係テ不便ヲ生ズルモノハ、政府ト
日本銀行トノ間ダケデ、民間ニハ大シテ不
便ヲ掛ケルコトモナイノデ、其ノ法律モ未
改正ノ儘ニシテ居ル、御指摘モアリマシタ
點ニ鑑ミニ十分研究ノ上、存置ノ必要ナシト
致シマスレバ、取引ノ實狀ニ適合スルヤウ
ナ措置ヲ執リタイトノ答辯ガアリマタ、其
ノ他支那事變以來、陸海軍兩省ニ對スル獻
金品ニ對スル處理狀況等ニ關スル質疑ガア
リマシテ、之ニ對シテ陸海軍政府委員ヨリ
詳細ナル答辯モアリマシタガ、其ノ問答ハ
當時新聞紙上デ公表致シマシタ、茲ニハ
省キマス、尙日本發送電株式會社ニ對スル
補給金ニ關スル問題、又民間ニ保有スル銅
鐵等金屬類ノ供出ニ關スル件等ノ問題ニ付
キマシテ、極メテ熱心ナル質疑應答ガゴザ
イマシタガ、省略致シマシテ、次ニ國有財

產増減總計算書ニ付キマシテハ、國有財產ノ數量、價格、範圍並ニ價格ノ算定ノ方法、增減ノ事由、雜種財產トシテ處分シ得ベキ財產ノ狀況、國有財產ノ整理等ニ付、小委員會ニ於テ種々質疑應答ヲ重ネ、慎重ニ審査ノ上全部承認ヲ致スコトニナリマシタ、次デ國有財產ノ得有沽賣及利用ニ關スル會注意ヲ促スベキモノト決議致シマシタ、其ノ一ハ、臺灣總督府ニ於テ官有原野ノ豫約賣渡ニ當リ無償貸付ヲ爲シタル件デ、其ノ二ハ、同ジク臺灣總督府臺東廳ノ徵收ニ係ル官有原野ノ豫約賣渡ニ關スル件デアリマス、其ノ他ハ異議ナシト決議致シマシタ、尙詳シイコトハ速記錄ニ依ツテ御承知ヲ願フコトニ致シマス、是ニテ報告ヲ終リマス。

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、二件共決算委員長ノ報告通リテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長樺山伯爵
所得稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十七年二月十二日
委員長 伯爵樺山 愛輔
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

織物消費稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十七年二月十二日
委員長 伯爵樺山 愛輔
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

印紙稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十七年二月十二日
委員長 伯爵樺山 愛輔
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臨時利得稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十七年二月十二日
委員長 伯爵樺山 愛輔
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

特別法人稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十七年二月十二日

委員長 伯爵樺山 愛輔

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

營業稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
及音集見

報告候也

馬六甲公二月二日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

臨時組銳措置法申改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セニ

報告候也

昭和十七年一月十二日

貴族院議長伯爵松平頤壽殿
委員長伯爵樺山愛輔

卷之三

國庫出納金端數計算法中改正法律案

右明決又ヘキモクナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年一月十二日

委員長 伯爵樺山 愛輔

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

戰時災害國稅減免法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

十一月廿二日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

卷之三

所得稅等ノ日滿ニ二重課稅防止ニ關スル
法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年二月十二日

委員長 伯爵樺山 愛輔

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

地方分與稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十七年二月十二日

委員長 伯爵樺山 愛輔

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

「伯爵樺山愛輔君演壇ニ登ル」

○伯爵樺山愛輔君 御報告申上ゲマス、只
今議題トナリマシタ所得稅法中改正法律案
外十七件ニ付キマシテ、委員會ノ經過竝ニ
結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ニ付託
セラレマシタ法案ノ骨子ハ、戰時ニ於ケル
財政需要ニ對應シテ國庫收入ノ増加ヲ圖
リ、之ニ依リ戰時財政ヲ強化スルト同時ニ、
一面購買力ノ吸收、消費ノ抑制ニ資スル見
地ヨリ、第七十七回帝國議會ニ於テ成立シ
タル間接稅ヲ中心トスル增稅ニ引續キ、今
回更ニ増加スル臨時軍事費ノ一部ニ充ツル
爲、各種ノ直接稅ニ付相當稅率ヲ引上グル
ト共ニ、現行間接稅ノ一部ニ付テモ增徵ヲ
行フ外、電氣瓦斯稅其ノ他ノ新稅ヲ創設シ、
尙貯蓄ノ増強、生產力ノ擴充、產業再編成

茲ニ人口及國民保健政策ヲ圓滑ナル遂行ニ資スル等ノ爲、適當ト認ムル租稅上ノ措置ヲ講ズルコトニアルノデアリマス、右ノ増稅ニ依リ平年度ニ於テ、分類所得稅四億一千四百八十餘萬圓、綜合所得稅一億六千二十餘萬圓、所得稅合計五億八千五百十餘萬圓、其ノ他五億七千三百萬圓ヲ增收ヲ圖ラ度ニ於テ約九億七千三百萬圓ヲ增收ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、案ノ内容ニ付キマンテハ政府ヨリ詳細ナル説明ガアリマンタ、又衆議院ノ委員會ニ於ケル主ナル質疑及ビ之ニ對スル答辯ニ付テモ、本委員會ニ於ケル審議ノ参考ヨシテ政府ヨリ詳細ニヨリ報告ガアリマシテ、是ハ本委員會ニ於ケリ審議ノ促進上與ツテ力ガアリマシタ、其ノ詳細ニ付テハ速記錄ニ付御高覽ヲ願フ次第デアリマス、是ヨリ審議ニ入ツタノデアリマスガ、本委員會ニ付託セラレタル法案ノ重要性ニ鑑ミ、終始緊張裡ニ極メテ熱心ニニ方面ニ瓦リ詳細ニ質問應答ガ續ケラレタノデアリマス、次ニ主ナル質問應答ニ付テノナキヤ、増稅ノ程度、殊ニ租稅ト公債トノ關係ニ付如何ニ考ヘテ居ルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ヨリ、最近ノ增稅殊ニ今次ノ增稅ニ依リ國民ノ負擔ハ相當增加セラレタルガ、之ニ依リ國民生活ヲ壓迫スル虞ナキヤ、増稅ノ程度、殊ニ租稅ト公債トノ關係ニ付如何ニ考ヘテ居ルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ヨリ、最近ノ增稅殊ニ今次ノ增稅ニ依リ國民ノ負擔ハ相當增加セラレタルガ、之ニ依リ國民生活ヲ壓迫スル虞ナキヤ、増稅ノ程度、殊ニ租稅ト公債トノ關係ニ付如何ニ考ヘテ居ルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ政府ヨリ、最近ノ增稅

加セラレタルガ、是ハ戰時下ニ於ケル現在
トシテハ、誠ニ已ムヲ得ザルモノト認メラ
ル、ノミナラズ、出來ル限り國民生活ニ對
スル壓迫ヲ避ケル爲、扶養撫除額ノ引上其
ノ他各種ノ措置ヲ講ジタルヲ以テ、今回ノ
増稅ニ依リ國民生活ヲ壓迫スル等ノ虞ハナ
イモノト認メラル、又公債ト租稅トノ割
合ニ付テハ、理論上如何ナル割合ヲ占メナ
ケレバナラヌ、又一定ノ割合ヲ保持スレバ
ソレデ宜シイトハ考ヘラレナイ、要ハ戰時
ニ於ケル經濟力ノ維持、發展ヲ害セザル範
圍ニ於テ、國民負擔力ヲ考ヘ、出來得ルダ
ケ租稅收入ヲ圖リ、其ノ足ラザル所ヲ公債
ニ依ルベキモノデアル、從ツテ公債ト租稅ト
ノ割合ヲ豫メ一定シテ之ニ依ルベキモノト
ハ考ヘテ居ナイ旨ノ簽證ガアリマシタ、次
ニ所得稅ニ付キマシテハ、山林ノ所得ニ對
シ負擔ヲ加重スルハ、國土保全ノ見地ヨリ
適當ニ非ズト認ムルガ如何トノ質問ガアリ
マシタ、之ニ對シテハ、山林ノ所得ニ付テ
ハ、從來ヨリ課稅上相當考慮シテ居ル次第
デアルガ今回各方面トモ負擔ガ加重セラル
ルニ際シ、之ニ付テモ增稅ヲ行フコトトシ
タノデアルガ、此ノ程度ノ負擔ニ依リテハ
稅スルコトトシタル株式ノ清算取引ニ依ル
所得ノ課稅ニ當リテハ、實際的ニ極メテ調
査困難ト認メラル、ガ政府ノ所見如何トノ

質問ニ對シテハ、本稅ノ實施ニ當リテハ納稅義務者ノ誠實ナル申告ヲ希望スル外、業者ノ協力ヲ得テ遺憾ナキヲ期スル旨ノ答辯アリマシタ、次ニ相續稅ニ付キマシテハ、今次ノ增稅ニ依リ、相續財產少額ナ者ニ對シ負擔ガ加重セラル、結果、家族制度ノ維持存續ヲ圖ル上ニ惡影響ナキヤトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ヨリ、今回ノ增徵ハ他ノ諸稅ニ於ケル擔徵ト、權衡ニモ留意シテ決定シタル次第ナルガ、本增徵後ニ於テモ其ノ負擔ハ必ズシモ高カラズ、又右ノ增徵ト共ニ扶養家族ニ對スル控除ノ引上ヲモ行ヒタルヲ以テ、今回程度ノ増稅ニ依リ、我ガ國ノ家族制度ノ維持ニ支障アリトハ認メラレズトノ答辯ガアリマシタ、次ニ電氣瓦斯稅ニ付キマシテハ、本稅ノ賦課ニ伴ヒ消費ノ減退ヲ來ス結果、業者ニ打擊ヲ與フル憂ナキヤトノ質問ニ對シテハ、本稅ノ賦課ニ依リ或程度消費ノ減退ヲ豫想セラル、所ナルモ、不急不要ノ方面ノ消費ヲ抑制シ、之ヲ現下緊要ナル方面ノ需要ニ供スルコトトナリ次第ナルヲ以テ、極メテ望マシキ所ナリ、之ニ依リ業者ニ對シ打擊ヲ與フルモノトハ認メラレザル旨ノ答辯ガアリマシタ、次ニ臨時租稅措置法ニ付キマシテハ、先づ寄附金ニ付之ヲ損金ニ算入セザル取扱トスル時ハ、全共事業ニ對スル寄附ヲ減少セシメ、必要ナル事業ノ維持助成ニ付相當影響アリ

ニ對シ政府ヨリ、各方面トモ相當負擔ヲ加重セラル、際ニ於テハ、寄附金ヲ從來通り損金トスルノ取扱ハ、國庫需要ノ増大トモ考へ合セテ適當ニ非ズト認メタル次第ナルガ、大體從來ニ於ケル程度ノ寄附金ハ損金トルコトシタルヲ以テ、之ニ依リ必要ナル公共事業ニ對シ著シキ影響アルモノト認メラレザルモ、尙寄附金審査委員會ニ於テハ關係各省ノ意見ヲ聽キ、其ノ運用ニ遺憾ナキヲ期スル旨ノ答辯ガアリマシタ、又減價償却年限ノ適正化ニ付テノ具體の方策如何トノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテハ、大體年數ヲ二割程度短縮スル外、堪久年數ハ原則トシテ事業ノ種類別ニ之ヲ定ムルコトトシ、又時局産業ノ固定資產ニ付テハ、昭和十二年七月以前ニ取得シダル物ニ付テモ、短縮シタ堪久年數ヲ適用スル見込ナル旨ノ答辯ガアリマシタ、次ニ地方税ニ關シマシテモ種々ノ質問應答ガアリマシタ、先づ地方分與税制度ハ、地方財政ノ現況ヨリ種々ノ議論アルモ、本制度ノ將來ニ付政府ハ如何ナル見解ヲ有スルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ、本制度ハ長年ノ研究ニ依リ樹立セラレタルモノニシテ、而モ施行後日淺ク未ダ真價ヲ十分ニ發揮スルニ至ラザル次第ナルガ、大體所期ノ目的ヲ達成シツ、アリ、尙改正ヲ要スル點ニ付テハ之ヲ改正シ、將來十分其ノ機能ヲ發揮セシメタキ所存ナル旨ノ答辯ガアリマシタ、又地方

財政ノ現状ヨリ見ル時ハ、國費、地方費ノ
區分ヲ是正スルヲ緊要ナリト思フガ、所見
如何トノ質問ニ對シテハ、此ノ點ニ付テハ
從來種々努力シツ、アル所ナルガ、今回ニ
於テモ十分考究スルコトトシタキ旨ノ答辯
ガアリマシタ、次ニ最近委任事務ノ増加ニ
伴ヒ、兎モスレバ固有事務ガ壓迫セラレル
虞アリ、政府ハ固有事務ノ財源ノ確保ニ付
考慮ヲ要スト思フガ如何トノ質問ガアッタ
ノニ對シ、政府ニ於テハ、十分考慮シテ居
ル次第デアルガ、今後尙考究シタキ旨ノ答
辯ガアリマシタ、以上ノ外増稅ト歲出ノ節
約トノ關係、不動產ノ讓渡利得ノ課稅ニ於
テ物價騰貴率ヲ加味スペキヤ否ヤノ問題、
最近ニ於ケル納稅成績等ノ問題ニ付熱心ナ
ル質疑應答ガアリマシタ、斯クシテ質疑ヲ
打切り討論ニ入りマシタガ、何等意見ノ開
陳モナク、採決致シマシタル處、全會一
致、各案共原案通り可決スペキモノト決定
致シマシタ、以上ハ委員會ノ經過ノ極メテ
大要ヲ申上ゲマシタガ、尙詳細ノ點ニ付キ
マシテハ之ヲ速記錄ニ譲リタイト思ヒマ
ス、右御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ
ケレバ、十八案ノ採決ヲ致シマス、十八案
ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第一讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 十八案ノ第二讀
會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ
問題ニ供シマス、十八案全部、委員長ノ報
告通リデ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

議通リデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第二十ヨリ、
日程第二十四迄ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參
照ノタゞ茲ニ載錄ス以下之ニ微フ〕

意見書案

帆布ノ増配並地質改善ニ關スル件

名古屋市港區熱田新田東組字根走九
十九番地平民稻垣諭治郎呈出

右ノ請願ハ小型船舶ハ近時燃料油ノ配給
制限ニ伴ヒ機力ノ利用ヲ廢シ專ラ風力ノ
應用ニ力メ帆布ノ所要愈切ナルニ拘ラス
之カ配給却テ減少セルノミナラス其ノ地
質粗惡ナル爲之等船舶ノ困第一方ナラサ
ルモノアルニ依リ速ニ帆布ノ增産ト増配
ヲ圖リ併セテ地質ノ改善ニ努メラレタシ
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十七年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 頼壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

五能線深浦、蘆作ノ兩驛間ニ簡易停車
場設置ニ關スル件

青森縣西津輕郡深浦町長藤田毅呈出
右ノ請願ハ青森縣西津輕郡深浦町大字横
磯ハ五能線深浦驛ト蘆作驛間九糸ノ中間
ニ位スルノミナラス兩驛間ノ道路不良ニ
シテ其ノ發展並兒童ノ通學上不利不便少
カラサルニ依リ速ニ中間驛又ハ停留場ヲ
設置セラレタク尙新設ニ要スル土地建物
等所要經費ノ一部ハ地元町ニ於テ負擔ス
ヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體
ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十七年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 頼壽

内閣總理大臣東條英機殿

意見書案

宮城縣石巻市長岩崎孫八外二十一名
呈出

右ノ請願ハ宮城縣志津川附近ヨリ石巻ニ
至ル鐵道ヲ敷設スルハ八戸、久慈、宮古、
山田、釜石、大船渡ノ諸港灣ヲ連繫セムト
スル既設線及建設線等ト相俟テ三陸沿岸
縱貫鐵道ノ完成トナリ產業並運輸交通上
貢獻スル所多大ナルニ依リ之カ區間ヲ鐵
道敷設法ノ豫定線ニ編入セラレタシトノ
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五
條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十七年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 頼壽

内閣總理大臣東條英機殿

○議長(伯爵松平頼壽君) 是等ノ請願ハ、
請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、今日ハ是ニテ延會致シマス、御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十七年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 頼壽

内閣總理大臣東條英機殿

右ノ請願ハ能登鐵道ハ曩ニ地方開發ノ爲
沿線各町村ノ地方民ヨリ小株主ヲ網羅シ
テ羽咋、輪島間ノ鐵道建設ヲ企畫シタル
モ羽咋、三明間ヲ敷設開通シタルニ過キ
スシテ財界ノ不況ニ際會シ遂ニ三明以北
ハ著工ニ至ラス免許失效トナリ之力爲沿
線住民ノ打撃甚シキニ依リ速ニ同鐵道ヲ
買收スルト共ニ豫定線三明、能登三井間
鐵道ヲ速成シ以テ地方產業ノ振興ト福利
ノ増進ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴
族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議
決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊
及送付候也

昭和十七年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 頼壽

内閣總理大臣東條英機殿

○議長(伯爵松平頼壽君) 是等ノ請願ハ、
請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス、今日ハ是ニテ延會致シマス、御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認
メマス

右ノ請願ハ能登鐵道買收並豫定線三明、能登三井
間鐵道速成ノ件

十四名呈出

メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、
議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ
及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時三十分散會

官報號外 昭和十七年二月十三日 貴族院議事速記錄第十二號

一〇四